

令和6年度（令和5年度事業対象）
平泉町教育委員会の事務事業等に関する点検評価報告書

令和6年8月

平泉町教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され（平成 20 年 4 月 1 日施行）、教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

このことを受けて平泉町教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民への説明責任を果たしていくために、令和 5 年度の平泉町教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い本報告書にとりまとめました。

今回の結果については、これからの施策等に反映するとともに、継続的に事業の改善を図って参ります。

目 次

1	実施方法	1
2	教育委員会の活動状況	2
3	点検評価結果	
	Ⅰ．学校教育	3
	Ⅱ．社会教育	11
	Ⅲ．生涯スポーツ	24
	Ⅳ．文化行政	27
4	評価委員会の意見	34
5	参考資料	
	第6次平泉町総合計画	
	学校教育関係抜粋	
	社会教育関係抜粋	
	生涯スポーツ関係抜粋	
	文化行政関係抜粋	

1 実施方法

(1) 点検評価の対象について

点検及び評価の対象とする事務事業は、平泉町総合計画の施策体系に基づいて、令和5年度の教育委員会の主要な事務事業を対象とする。

(2) 評価実施の流れについて

1) 一次評価（内部評価）

教育委員会が行った事業について、教育委員会内部で自己評価を行う。

2) 二次評価（外部評価）

一次評価を行った事業について有識者から意見を求める。

3) 教育委員会議の承認

4) 議会に対する報告書の提出・公表

報告書を議会に提出し、町民に公表（ホームページに掲載）する。

(3) 評価委員会の設置について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定の趣旨に基づき、事務事業の点検及び評価を行うに際し、学校教育に関し学識経験を有する者、社会教育に関し学識経験を有する者及び地域代表者により構成する評価委員会を置き、意見を求める。

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会の構成（令和5年度）

職 名	氏 名	備 考
教育長	吉 野 新 平	
教育長職務代理者	本 澤 京 子	令和5年11月17日退任
教育長職務代理者	三 浦 英 子	令和5年11月18日就任
教育委員	山 平 功 二	
教育委員	千 葉 義 信	
教育委員	小野寺 香 世	令和5年11月18日就任

(2) 教育委員会議の開催状況

教育委員会の会議は、毎月1回の定例会及び必要に応じて臨時会を開催し、以下の議案等について審議した。

会議名	議案番号	件 名	結果
7月定例会 7月27日（木）	議案第10号	教科用図書の採択に関し議決を求めることについて	可決
	議案第11号	令和5年度（令和4年度事業対象）平泉町教育委員会の事務事業等に関する点検評価（案）に関し意見を求めることについて	可決
8月定例会 8月24日（木）	承認第1号	令和5年度（令和4年度事業対象）平泉町教育委員会の事務事業等に関する点検評価に関し承認を求めることについて	承認
10月定例会 10月23日（月）	議案第12号	平泉町教育委員会教育長職務代理者の指名について	可決
	議案第13号	平泉町教育委員会委員の議席の決定について	可決
12月定例会 12月25日（月）	議案第14号	平泉町教育委員会教育長職務代理者の指名について	可決
	議案第15号	平泉町文化財調査委員の任命について	可決
1月定例会 1月26日（金）	議案第1号	平泉町教育委員会表彰に係る被表彰者の決定について	可決
	議案第2号	平泉町学習交流施設電気料金高騰対策指定管理者給付金交付要綱の制定について	可決
	議案第3号	平泉町立幼稚園管理運営規則の一部を改正する規則について	可決
2月定例会 2月14日（水）	議案第4号	令和6年度平泉町教育委員会教育行政方針について	可決
第1回臨時会 2月29日（木）	議案第5号	教職員人事異動の内申について	可決
3月定例会 3月26日（火）	議案第6号	平泉町立学校教職員安全衛生管理規程の制定について	可決
	議案第7号	平泉町教育委員会行政組織規則の一部改正について	可決
	議案第8号	平泉文化遺産センター参与の任命について	可決
	議案第9号	平泉町文化財調査委員の任命について	可決
	議案第10号	平泉町社会教育委員の任命について	可決
	議案第11号	平泉町学校給食費の額について	可決

3 点検評価結果

I. 学校教育


1 子どもの教育の充実【基本施策】

(1) 新しい時代に対応した教育内容の充実【主要施策】

具 体 的 施 策	基礎学力の定着
事業の内容	<p>1) 学習定着度調査 全国学力・学習状況調査や県学習状況調査に加え、目標基準準拠検査(CRT)を実施し、児童生徒の学力の実態を把握するための調査・分析を行った。</p> <p>①目標基準準拠検査(CRT)の実施 小学校第1学年～第6学年 ・ 国語、算数 中学校第1学年・第2学年 ・ 国語、社会、数学、理科、英語</p> <p>②全国学力・学習状況調査の実施と分析 小学校第6学年 ・ 国語、算数、質問紙 中学校第3学年 ・ 国語、数学、英語、質問紙</p> <p>③県学習状況調査の実施と分析 小学校第5学年 ・ 国語、算数、質問紙 中学校第2学年 ・ 国語、数学、質問紙</p>
評価 (主な成果と考察)	「授業の内容がよくわかる」と答えた児童生徒の割合は、小学校第5学年で40%（目標値60%）、中学校第2学年で27%（目標値35%）となっており目標値には到達していない状況にある。調査結果を受け、誤答傾向を確認しながら分析、評価を行い、各校で対策を検討し、学力向上に向けた授業改善に取り組んだ。
今後の方向性 (今後の取組み等)	今後も、諸調査の結果を関連させながら、児童生徒のつまずきがどこにあるのかを的確に捉え、課題を明確にしながら児童生徒に寄り添った授業を充実させ、学力の向上を図っていく。

具 体 的 施 策	特別支援教育の充実
事業の内容	<p>1) 教育支援推進事業 専門家チームを組織し、町内の幼稚園、保育所、小・中学校を訪問した。子どもへの具体的な支援策について助言を行った。</p> <p>①定期巡回相談 幼稚園、保育所、小・中学校の5施設を2回ずつ訪問した。</p> <p>②随時巡回相談 町の特別支援教育コーディネーターが、依頼に応じて随時訪問を行い、検査や助言を行った。</p> <p>2) 特別支援教育支援員の配置 通常学級での支援を必要とする児童生徒の増加から、個に応じた支援を中心に行う支援員の配置を行った。</p> <p>【配置】 平泉小学校5人、長島小学校3人、平泉中学校4人、計12人</p> <p>3) 特別支援教育支援員研修会の実施 特別な支援を必要とする児童・生徒への具体的な支援方法について学び、年度初めの早期からの支援教育の充実につなげるための研修会を行った。</p> <p>①実施日 5月26日（金）13:30～16:30 会場：平泉町役場</p>

	<p>②参加者 幼稚園、保育所、小・中学校特別支援教育ＣＯ、支援員等 計 18 人</p> <p>③講師 平泉町教育支援推進事業専門家チーム員 心理カウンセリングオフィスおきた所長</p> <p>沖田 憲一 先生 子育て支援いっすね 菅原 梨沙 先生 県南教育事務所・一関清明支援学校 伊藤 奏子 先生 一関清明支援学校 小笠原志律 先生</p> <p>4) 教育支援委員会の運営 心身に障がいをもつ幼児児童生徒について、合理的配慮のもと適正な就学、学びの場に係る協議・助言を行った。</p> <p>①実施 年間 3 回（6 月、10 月、12 月）会場 平泉町役場</p> <p>②参加者 精神科医、一関児童相談所心理司、一関清明支援学校副校長・教諭、保健センター所長・保健師、幼稚園長、保育所長、町内小・中学校長、各校特別支援教育コーディネーター、平泉町教育委員会事務局員</p>
評価 (主な成果と考察)	<p>特別な支援を必要とする児童生徒等の人数が増加傾向にあることから、専門家チームによる取り組みを通して、教育支援課題の解決に向けた具体的な改善策の提案ができた。研修会では、支援の具体的な方法を学ぶとともに、各所属での支援の状況や成果・課題について活発な協議が行われた。</p>
今後の方向性 (今後の取組み等)	<p>今後も、児童生徒が持つ力を最大限伸ばすことができるように、幼児教育施設や学校の支援及びサポートを継続していく。また、特別支援教育支援員による児童生徒への支援の充実を図れるよう、特別支援教育支援員研修会の内容を充実させていく。</p>

具 体 的 施 策	英語教育の充実															
事 業 の 内 容	1) A L T (外国語指導助手) 配置事業 町内でA L Tを2名配置した。うち1名が中学校配置、もう1名は幼保小担当として配置した。幼保小については、曜日ごとに各所を訪問し、ネイティブな英語に慣れ親しむ機会を増やした。															
	2) 検定補助事業 中学校の全生徒を対象に英語検定への全額補助事業を行った。															
	【令和4年度】															
	<table><tr><td></td><td>第1学年</td><td>第2学年</td><td>第3学年</td><td>計</td></tr><tr><td>延べ人数／ 在籍人数</td><td>125／66</td><td>152／56</td><td>118／59</td><td>395/181</td></tr><tr><td>割合</td><td>189.4 %</td><td>271.4 %</td><td>200.0 %</td><td>218.2 %</td></tr></table>		第1学年	第2学年	第3学年	計	延べ人数／ 在籍人数	125／66	152／56	118／59	395/181	割合	189.4 %	271.4 %	200.0 %	218.2 %
		第1学年	第2学年	第3学年	計											
	延べ人数／ 在籍人数	125／66	152／56	118／59	395/181											
	割合	189.4 %	271.4 %	200.0 %	218.2 %											
																
	【令和5年度】															
	<table><tr><td></td><td>第1学年</td><td>第2学年</td><td>第3学年</td><td>計</td></tr><tr><td>延べ人数／ 在籍人数</td><td>92／49</td><td>177／66</td><td>105／57</td><td>374／172</td></tr><tr><td>割合</td><td>187.8 %</td><td>268.2 %</td><td>184.2 %</td><td>217.4 %</td></tr></table>		第1学年	第2学年	第3学年	計	延べ人数／ 在籍人数	92／49	177／66	105／57	374／172	割合	187.8 %	268.2 %	184.2 %	217.4 %
	第1学年	第2学年	第3学年	計												
延べ人数／ 在籍人数	92／49	177／66	105／57	374／172												
割合	187.8 %	268.2 %	184.2 %	217.4 %												

評 価 (主な成果と考察)	<p>A L Tについては、幼稚園・保育所で週1日、小学校で週2日、中学校で週5日配置し、園児と児童、生徒の英語学習に対する関心・意欲を一層高めることができた。</p> <p>英語検定については、中学校全生徒を対象とした年3回の検定費用の全額を公費負担し、英語力の向上に向けた意欲の醸成と生徒自身における英語力の把握につなげることができた。</p>
今 後 の 方 向 性 (今後の取り組み等)	<p>英語教育の充実を図るため、A L Tを継続配置し、また今後も英語力及び学習意欲の向上を図るため、英語検定の全額補助を行う方向で進める。</p>

具 体 的 施 策	生徒指導の充実
事 業 の 内 容	<p>1) 適応支援相談員配置 不登校や別室登校の児童生徒の学校適応を図るための相談員を配置した。</p> <p>【実績】 適応支援相談員の配置（平泉中学校（拠点校）に1人） 配置中学校区内の小中学校への訪問相談</p> <p>2) 学校警察連絡協議会の設置と補導部会の実施 学校教育関係者（生徒指導主事）と警察が一堂に会し、児童生徒の非行防止と健全育成を図るための情報の共有や協議を行った。</p> <p>① 実施日 総会 6月6日（火） 第1回補導部会 7月7日（金） 第2回補導部会 12月5日（火）</p> <p>② 参加者 町内小中学校生徒指導主事、一関警察署生活安全課長、県南教育事務所在学青少年指導員、町内駐在所長、教育委員会関係者</p> <p>③ 内容 ・ いじめの認知件数・内容について ・ 不登校の状況について ・ その他の生徒指導に関する内容について</p> <p>3) 適応支援教室「カラフル」の運営 教育相談員を配置し、不登校の児童生徒に対し学習や体験活動の機会を提供し、学校への早期復帰のための支援を行った。</p> <p>【実績】 教育相談員の配置 毎週火・木に平泉町学習交流施設「エピカ」にて適応支援教室「カラフル」を開所。</p>
評 価 (主な成果と考察)	<p>令和5年度において新たに不登校になったのは小学校3名、中学校7名であった。また、不登校解消は中学校3名であった。担任や適応支援相談員、教育相談員によるきめ細やかな支援とともに、各校と連携を図りながら、新規の不登校を出さない工夫と不登校児童生徒の学校復帰に向けた活動を進めている。なお、適応支援教室利用者は2名であった。</p>
今 後 の 方 向 性 (今後の取り組み等)	<p>今後も、適応支援相談員と教育相談員の配置とともに適応支援教室の運営を継続する。さらに、個に応じた対応と魅力ある学校づくりの取組を進められるよう、学校間や教育委員会事務局との情報提供や情報共有を進めていく。</p>

具 体 的 施 策	豊かな心を育む情操教育の推進
事 業 の 内 容	<p>1) 読書推進員配置事業</p> <p>児童生徒がより本に親しみ、本を活用できる環境を整えるために、読書推進員を配置し、図書館教育の充実を図った。</p> <p>【実績】</p> <p>①配置</p> <p>読書推進員 1 名を町内小中学校へ巡回配置した。</p> <p>勤務：平泉小に週 2 日（月水）、長島小に週 2 日（火木）平泉中に週 1 日（金）</p> <p>②業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新刊図書購入リスト作成補助と受け入れ作業 ・平泉町立図書館からの本の団体貸出、管理、返却 ・図書館ボランティアと連携した読み聞かせ、本の紹介 ・図書委員会の活動サポート ・卒業祝品の図書リスト作成 ・本の修繕 など
評 価 (主な成果と考察)	館内装飾や書架表示の作成等の環境整備、図書紹介や読み聞かせ等により、児童生徒の読書に対する関心、図書館の活用意識は高い水準で維持されている。
今 後 の 方 向 性 (今後の取組み等)	読書推進員の各学校の読書活動に合わせた勤務時間等の弾力的運用について、今後も柔軟に対応していきたい。

(2) 学習環境の整備・充実【主要施策】

具 体 的 施 策	教材・教具の整備
事 業 の 内 容	<p>1) 教材・教具整備事業</p> <p>教育内容の充実に即した設備や教材・教具の整備を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラーマット 7 枚、高跳び用マット 1 個ほか（平泉小学校） ・デジタイマー 1 個ほか（長島小学校） ・トロンボーン 1 本、クラリネット 1 本ほか（平泉中学校）
評 価 (主な成果と考察)	特色ある学校づくりを進めるため、小中学校に隔年で整備している楽器を中学校に導入するなど、学習環境の整備・充実に努めた。
今 後 の 方 向 性 (今後の取組み等)	学校で使われる教材や教具は、子どもたちの教育効果を高め、児童生徒の基礎的・基本的な学習理解を助ける上で極めて重要であるため、今後も整備・充実を図っていく。

具 体 的 施 策	ICT を活用した学習活動の推進
事 業 の 内 容	<p>1) 児童生徒 1 人 1 台の学習者用 ICT 端末の活用</p> <p>児童生徒に対して整備された 1 人 1 台のタブレット端末（iPad）の授業等での活用を進めた。</p> <p>2) 高速大容量の校内ネットワーク環境の活用</p> <p>整備された校内ネットワーク環境のもとでタブレット端末をインターネットに接続し、デジタル教科書の活用や、調べ学習、オンライン学習等を進めた。</p>
評 価 (主な成果と考察)	各校において端末を利用した情報活用能力の育成を目指した学習や、ICT を効果的に活用したわかりやすく深まる授業が行われている。
今 後 の 方 向 性 (今後の取組み等)	今後は、電子黒板などハード面の充実を図るとともに、児童生徒が端末を家に持ち帰って家庭学習に活用していけるよう、積極的な持ち帰りについて各校に引き続き呼びかけを行っていく。

(3) 幼保小中で取り組む系統的な平泉学・全世代型平泉学の推進【主要施策】

具 体 的 施 策	幼保小中で取り組む系統的な平泉学・全世代型平泉学の推進
事 業 の 内 容	<p>1) 幼保小中の系統的な平泉学 幼稚園、保育所、小学校、中学校において、発達段階に応じて学習内容や体験活動を整理体系化し、実践活動に取り組んだ。 ※小中学校においては、「総合の学習の時間」で平泉学の実践を行った。 【各学年別学習テーマ】</p> <p>○幼稚園・保育所 「世界遺産の町・地域を見て歩こう」 小学校低学年 内容：まち探検（文化遺産センター、観自在王院跡他）等</p> <p>○小学校中学年 「世界遺産の町・地域にふれ・知ろう」 内容：祭り調べ（大文字送り火他）、地域の自慢を調べる（毛越寺、金鶏山、高館義経堂、達谷西光寺、西行桜の森他）等</p> <p>○小学校高学年 「平泉の歴史を知ろう・考えよう」 内容：先人の平和への願い・平泉の価値を考える（中尊寺歴史学習、町職員による講話）等</p> <p>○中学校第1学年 「過去を知る」 平泉の歴史・文化を学ぶ 内容：平泉遠足（中尊寺、毛越寺、文化遺産センター他）、平泉学検定、発掘・拓本体験等</p> <p>○中学校第2学年 「今を見つめる」 世界遺産になった平泉を見つめる 内容：大文字送り火への参画（火床づくり※第1・2学年合同）、平泉PR活動（パンフレット等作成）準備</p> <p>○中学校第3学年 「未来に広げる」 日本の平泉から世界の平泉へ 内容：修学旅行での平泉PR活動（訪問先で平泉の魅力を情報発信）、平泉ガイド体験（毛越寺他）、平和学習講座等</p> <p>2) 全世代型平泉学の推進 Ⅱ. 社会教育 1 生涯学習・社会教育の推進【基本施策】(4) 平泉の将来を担う人材育成にて評価（21～22 頁参照）</p>
評 価 (主な成果と考察)	<p>学校教育や社会教育による各種取り組みにより、子どもたちの発達段階に応じた平泉学を推進することができた。</p> <p>また、子どもを中心に地域住民が集まることにより、地域内交流や世代間交流を促進し、地域内コミュニティの活性化を図ることができた。</p>
今 後 の 方 向 性 (今後の取り組み等)	<p>今後も、学校教育と社会教育の連携による平泉学の推進を図っていく。</p> <p>また、幼保小中の系統的な学習を基礎に、子どもを中心に地域住民が集い、学び合う場を創出することにより、全世代型平泉学の更なる推進を図っていく。</p>

(4) 教職員の研修の充実【主要施策】

具 体 的 施 策	教職員一斉研修会
事 業 の 内 容	<p>1) 第1回教職員一斉研修会</p> <p>①実施 4月17日(月)</p> <p>②参加者 町内幼稚園・小中学校職員 教育委員会関係者</p>

	<p>③内容 観自在王院跡の見学研修</p> <p>2) 第2回教職員一斉研修会</p> <p>①実施 7月21日(金)</p> <p>②参加者 町内幼稚園・小中学校職員 教育委員会関係者</p> <p>③内容 無量光院跡・柳之御所遺跡の見学研修</p> <p>3) 小中交流研修会</p> <p>①実施 10月31日(火) 会場:平泉中学校</p> <p>②参加者 町内小中学校教職員 教育委員会関係者</p> <p>③内容 平泉中学校から授業提案 3つの分科会(各学年)に分かれての研究会</p>
評価 (主な成果と考察)	<p>教職員研修会は、教員に向けて平泉町の世界遺産や歴史的遺構についての研修を行うことができた。小中交流研修会では、平泉中学校の授業を参観するとともに、3つの分科会に分かれて研究会を行うことにより、小中のつながりや教育課題について協議することができた。</p>
今後の方向性 (今後の取組み等)	<p>今後も、教職員一斉研修会と小中交流研修会を実施して、より良い教育を実施するための教職員の知見を高めていく。</p>

(5) 社会に開かれた教育課程の推進【主要施策】

具体的施策	コミュニティ・スクールの推進
事業の内容	<p>1) 学校運営協議会の実施 各校3回の学校運営協議会を実施し、「地域全体で平泉の子どもを育む」という目的意識を持ち、充実した取組ができるように協議を行った。</p> <p>※開催内容は全協議会共通して下記のとおり</p> <p>第1回 設置趣旨及びグランドデザインの共有 令和5年度学校経営方針及び活動計画について</p> <p>第2回 授業参観、意見交流、テーマ別協議 【テーマ別協議内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平小…地域と学校が連携した居場所づくりや体験活動の充実について ・長小…児童減少に伴う今後の地域連携の在り方について ・平中…部活動の地域移行について 中学生の地域活動への参画について <p>第3回 令和5年度学校評価について、テーマ別協議 【テーマ別協議内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平小…コロナ禍後の子どもの生活の健全化について 後期の教育活動に学校運営協議会が協力できることについて ・長小…熟議(長島の子どもたちをどんな子どもに育てたいか) ・平中…令和6年度学校運営方針及び活動計画(案)について

	<p>○平泉小学校学校運営協議会（委員：17人） 第1回 5月29日（月）出席：17人 第2回 10月26日（木）出席：14人 第3回 2月29日（木）出席：17人</p> <p>○長島小学校学校運営協議会（委員：17人） 第1回 5月30日（火）出席：13人 第2回 10月6日（金）出席：13人 第3回 2月21日（水）出席：12人</p> <p>○平泉中学校学校運営協議会（委員：17人） 第1回 5月26日（金）出席：15人 第2回 12月1日（金）出席：11人 第3回 3月8日（金）出席：15人</p> <p>2）平泉町コミュニティ・スクール推進協議会の実施 3校のコミュニティ・スクールの統括と情報共有を図るため、平泉町コミュニティ・スクール推進協議会を行った。</p> <p>○総会（委員：20人、幹事：3人、事務局：7人） 開催日 7月31日（月） 出席者 委員：18人、幹事：2人、事務局：7人 協議事項 令和4年度事業実績について、 令和5年度推進計画（案）について、 各学校運営協議会の取り組みについて、その他</p> <p>○幹事会（幹事：6人、事務局6人） 開催日 3月21日（木） 出席者 幹事：6人、事務局：6人 協議事項 令和5年度事業実績について、情報交流、各学校運営協議会の取り組みについて、 その他</p>
評価 （主な成果と考察）	<p>地域と学校が一体となって特色ある学校づくりを進めていくため、各校の学校運営協議会（コミュニティ・スクール）において協議を行った。推進協議会では、各校の課題や特徴を見つけるとともに、取組状況を確認しながら、今後の活動の充実に向けた協議を行った。</p>
今後の方向性 （今後の取組み等）	<p>各学校運営協議会の継続的な支援を行うとともに、情報誌等により取組みの発信についても積極的に行っていく。また、各校との連携を図りながら、コミュニティ・スクールと連動した地域学校協働活動の充実を図っていく。</p>

（6）健やかな体づくりと学校給食の充実【主要施策】

具体的施策	健康・安全な生活を目指した指導
事業の内容	<p>1）学校給食の充実 児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けられるよう、地場産物を活用した学校給食の充実と食育の推進に努める。 年間給食実施回数 175回（平泉小学校・長島小学校） 164回（平泉中学校）</p> <p>○平泉町学校給食協議会各種事業 学校給食実施校相互の連絡協議と学校給食の改善向上を図るため、各種事業を行った。 ・令和5年度学校給食協議会総会 6月19日（月） ・調理研修会 8月1日（火）</p>

	<p>○学校給食食材放射性物質検査</p> <p>①給食食材 8件</p> <p>②給食 平泉小学校 6食 長島小学校 6食 町立幼稚園・平泉保育所 6食 長島保育所 6食</p> <p>*検査の結果、放射性セシウム 134、137 はすべて不検出</p> <p>○食育や地産地消に関する取組</p> <p>児童生徒が地域の食文化について触れ、食への理解を深めるため、地元生産者との交流事業を各学校で実施した。</p> <p>・平泉小学校 4回（黄金メロン、きんいろパン、米づくり等）</p> <p>・長島小学校 2回（大文字りんご、とうもろこし等）</p>
評価 (主な成果と考察)	<p>給食食材の放射性物質検査を引き続き実施するとともに、学校給食協議会を通して今後の学校給食のあり方や地場産物の使用、調理場の在り方について検討を行うことができた。</p> <p>また、地元生産者との交流事業により、食に関する感謝の気持ちを育むきっかけづくりとなった。</p>
今後の方向性 (今後の取組み等)	<p>今後も学校給食の充実と食育の推進のために学校給食協議会を中心に学校や地域と意見交換を行いながら、安心安全な給食提供ができるよう努めていく。</p> <p>きらめき野菜デーの取り組み等を活かしながら、さらなる地産地消の推進を図れるよう支援していく。</p>

具体的施策	健康・安全な生活を目指した指導
事業の内容	<p>2) 学校保健の充実</p> <p>○各種健診の実施</p> <p>学校保健安全法に基づき児童・生徒を対象とした健診を実施した。</p> <p>①内科健診 対象：幼稚園・小学校・中学校</p> <p>②耳鼻科健診 対象：小学校・中学校</p> <p>③眼科健診 対象：小学校・中学校</p> <p>④歯科健診 対象：幼稚園・小学校・中学校</p> <p>⑤尿検査 対象：小学校全学年・中学校全学年</p> <p>⑥心臓健診 対象：小学校第1学年・中学校第1学年</p> <p>⑦脊柱側弯健診 対象：小学校第5学年・中学校第1学年</p> <p>⑧貧血検査 対象：中学校第1学年</p> <p>⑨生活習慣病予防健診 対象：小学校第4学年・中学校1学年</p> <p>※⑤～⑨については岩手県予防医学協会への委託</p> <p>○思春期講演会の実施</p> <p>思春期の入口である小学校第4学年の児童とその保護者に対し、学校保健会と協力し講演会を実施した。</p> <p>思春期保健講話「生まれてきてくれてありがとう～生命誕生～」</p> <p>講師：マタニティ相談室くろさわ 助産師 黒澤 真澄先生</p> <p>長島小学校第4学年 11月20日（火）</p> <p>平泉小学校第4学年 2月16日（金）</p>
評価 (主な成果と考察)	<p>各種健診については、学校や学校医等の協力を得ながら適切に行うことができた。</p> <p>思春期講演会は、児童だけでなく保護者からも大変好評であり、今後も継続した実施を望む声が多くあった。</p>

今後の方向性 (今後の取り組み等)	<p>各種健診については、今後も学校や学校医等と協力して取り組みを行う。特に生活習慣病予防検診については、近年のライフスタイルの変化等により肥満傾向が懸念されることから、今後も継続して取り組んでいく。</p> <p>思春期講演会についても家庭及び学校保健会と連携し、継続して事業実施していく。</p>
----------------------	--

II. 社会教育

1 生涯学習・社会教育の推進【基本施策】

(1) 社会教育施設の整備と充実【主要施策】

具 体 的 施 策	学習交流施設管理運営事業
事 業 の 内 容	<p>1) 指定管理</p> <p>学習意欲の向上や多世代の交流など教育振興を目的とする施設の管理を効果的に行うため、学習交流施設「エピカ」の管理に関する基本協定及び令和5年度協定に基づき、指定管理者による施設の管理運営を行った。</p> <p>①指定管理期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理者 シダックス大新東ヒューマンサービス(株)</p> <p>③令和5年度指定管理料 56,466,666 円</p> <p>④令和5年度利用者数 73,447 人</p>
評 価 (主な成果と考察)	指定管理者と連携を図りながら、生涯学習拠点施設として、町民に対する各種学習活動の提供に取り組むことができた。
今後の方向性 (今後の取り組み等)	にぎわい交流拠点の役割を担う施設として、指定管理者と連携し、運営協議会における運営状況評価やモニタリングを行いながら、より良い施設運営を目指し施設の有効活用を図っていく。

具 体 的 施 策	学習交流施設の利用促進
事 業 の 内 容	<p>1) 図書館運営の方針・運営内容</p> <p>住民の多様な学習ニーズに対応するため、必要な資料等の収集・活用、整理保存を行い、情報センターとしての役割を果たすとともに、利用しやすい図書館運営と利用者サービスの充実を図った。</p> <p>①多様な情報提供</p> <p>入館者 55,829 人</p> <p>貸出者 10,006 人</p> <p>図書貸出冊数 41,190 冊</p> <p>蔵書冊数 42,062 冊</p> <p>うち年間購入冊数 877 冊</p> <p>②地域支援課題の推進</p> <p>・巡回図書の実施 町内3箇所 10回 540冊</p> <p>・ブックスタート支援(9か月児健診受診親子対象)</p> <p>③幼児、児童、生徒等の学習機会の提供</p> <p>・小学生図書館職場体験受入れ</p> <p>・図書館主催お話し会開催(12回) 参加者 196人</p> <p>④他図書館及び関係機関との連携・協力</p> <p>他公立図書館との相互貸借、学校図書館への図書団体貸出しの実施</p>

評価 (主な成果と考察)	年間入館者数は前年度より 34%増、貸出し冊数も 26%増と大幅に増加した。 また、「クリスマス工作」や「絵本の世界の料理教室」、絵本の原画展など、作家を招いたイベントを実施し、本に親しみを持ってもらい、読書普及を図っている。
今後の方向性 (今後の取り組み等)	図書購入については、幅広いジャンルや世代に応じた蔵書を購入していく。引き続き同施設の図書館が今後、生涯学習の拠点として効果的に機能していくよう、企画の充実と利用環境の整備に努めていく。

(2) 生涯にわたって学ぶことができる学習環境づくり【主要施策】

具体的施策	指導体制の充実
事業の内容	<p>1) 社会教育委員会議</p> <p>社会教育に関する事業計画、事業実績等の審議を行うため、社会教育委員を委嘱し、会議を開催した。</p> <p>○委員数 9人</p> <p>○会議数 3回</p> <p>第1回 5月31日(水)</p> <p>第2回 11月21日(火)</p> <p>第3回 3月21日(木)</p> <p>○内 容 教育委員会事務局(社会教育係・社会体育係)及び世界遺産推進室、文化遺産センター、学習交流施設に関わる事業計画及び事業実績の審議について等</p>
評価 (主な成果と考察)	各会議では、社会教育の各種事業に対し活発な審議が行われ、各事業の進捗状況の把握や今後の事業展開などについて意見交換がなされ、各委員からの意見等に基づき事業内容を精査し、年度内の事業改善や次年度の事業計画に反映させられるよう努めた。
今後の方向性 (今後の取り組み等)	今後も各種社会教育関係事業の評価、検証を行い、事業改善や次年度計画に反映させられるよう会議を開催する。また、町総合計画での社会教育の位置づけや、基本方針等について委員へ分かりやすい説明に努める等、必要な関連情報の提供を行っていく。

具体的施策	生涯学習推進体制の整備
事業の内容	<p>1) 生涯学習町民のつどいの開催</p> <p>生涯学習の推進への機運を高めるとともに、コミュニティ・スクールのさらなる活性化と地域教育力の向上を図った。</p> <p>○開催日 2月17日(土)</p> <p>○会 場 学習交流施設エピカ</p> <p>○参加者 120人</p> <p>○内 容 町教育委員会表彰 成果発表・事業発表(コミュニティ・スクールに関する取り組み、小笠原児童生徒交流事業(平泉黄金情報発信プロジェクト)について、郷土芸能体験講座の実践発表)、情報メディアとの付き合い方に関する講演会</p> <p>2) 第50回ひらいずみ芸術文化祭</p> <p>町民が丹精込めて作り上げた芸術作品の展示や各社会教育団体の活動を紹介しながら、町民の芸術及び創作活動の意欲醸成と振興を図った。</p>

	<p>○開催日 11月4日（土）～5日（日）</p> <p>○会 場 学習交流施設エピカ、福祉活動センターアピュイ</p> <p>○来場者 2,800人</p> <p>○内 容 園児・児童・生徒作品展、手工芸展、文化遺産コーナー、華道展、保健センターコーナー、イベント・体験コーナー（茶会、軽食コーナー、い～はと～ぶ音楽祭、絵本読み聞かせライブ、スポレクフェスタミニ、手作り体験村 in 平泉、クイズスタンプラリー）ほか</p>
評価 (主な成果と考察)	<p>生涯学習町民のつどいは、児童生徒による取り組みとその成果の発表を中心に生涯学習の機運を高めながら、コミュニティ・スクールの周知・啓発に取り組むことができた。</p> <p>開催 50 回目の節目となった芸術文化祭は、しおり作りや世界遺産キャンドル作り、綿あめ作りの体験コーナーなど、新たなイベントを催して誘客を図った結果、単独開催回の中では過去最大の来場者を招くことができた。</p>
今後の方向性 (今後の取り組み等)	<p>生涯学習町民のつどいは、町内活動団体等の実践発表とその成果の発信の機会、各学校のコミュニティ・スクールの取り組みの発表の場として、地域教育力の向上を図っていく。</p> <p>芸術文化祭は、令和5年度の成果や課題を検証しながら町民の芸術及び創作活動の意欲醸成と振興を図っていく。</p>

具 体 的 施 策	社会教育団体援助
事業の内容	<p>1) ゆうゆう学びランド事業</p> <p>地区公民館活動を支援するため、地区が行う講習会や地域活動等に要する費用のうち、講師謝金（1回7,000円）を助成する「ゆうゆう学びランド事業」を実施した。</p> <p>①実施地区 7地区（延べ9回）</p> <p>②参加人数 延べ126人</p> <p>③助成金額 ⑦7,000円×7回＝49,000円</p> <p>④実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6区 9月7日（木）女の子姿のタオルかけづくり 13人 ・ 11区 10月27日（金）水彩画教室 13人 ・ 13区 12月23日（土）しめ縄・餅花かざり制作 30人 ・ 14区 10月15日（日）指で編むマンドゥバッグづくり（月舘） 15人 ・ 14区 10月18日（水）指で編むマンドゥバッグづくり（月舘） 15人 ・ 14区 10月22日（日）指で編むマンドゥバッグづくり（二反田） 13人 ・ 14区 10月26日（木）指で編むマンドゥバッグづくり（二反田） 13人 ・ 18区 12月23日（土）生花教室 8人 ・ 21区 12月30日（土）生花教室 6人
評価 (主な成果と考察)	<p>地区公民館活動を支援し、各地区の主体的な活動の活性化を図るため、ゆうゆう学びランド事業を開催し、各種地域活動の継続を図ることができた。また、創作活動等を実施した地区については、町芸術文化祭への出展にもつながっている。</p>

今後の方向性 (今後の取組み等)	地区公民館活動や地域振興活動の支援を推進するため、PTA や婦人団体組織などへ事業の周知を行いながら全地区の実施に努めていく。また、交流・学習の機会を作り、町民の学習意欲を高めるとともに、地域や参加者の協働精神を醸成する。
---------------------	---

具 体 的 施 策	社会教育団体援助														
事業の内容	<p>2) 補助金の交付</p> <p>社会教育団体の活動の活発化を図るため、補助金を交付した。</p> <table border="0"> <tr> <td>①平泉町地域婦人団体協議会活動費補助金</td><td>70,000 円</td></tr> <tr> <td>②平泉町芸術文化協会活動費補助金</td><td>100,000 円</td></tr> <tr> <td>③平泉ユネスコ協会活動費補助金</td><td>60,000 円</td></tr> <tr> <td>④父母と教師の集い開催事業費補助金</td><td>100,000 円</td></tr> <tr> <td>⑤平泉町芸術文化祭実行委員会活動補助金</td><td>390,000 円</td></tr> <tr> <td>⑥コミュニティ・スクール実践区活動費補助金</td><td>60,000 円</td></tr> <tr> <td>⑦地区公民館整備費補助金（6区）</td><td>912,000 円</td></tr> </table>	①平泉町地域婦人団体協議会活動費補助金	70,000 円	②平泉町芸術文化協会活動費補助金	100,000 円	③平泉ユネスコ協会活動費補助金	60,000 円	④父母と教師の集い開催事業費補助金	100,000 円	⑤平泉町芸術文化祭実行委員会活動補助金	390,000 円	⑥コミュニティ・スクール実践区活動費補助金	60,000 円	⑦地区公民館整備費補助金（6区）	912,000 円
①平泉町地域婦人団体協議会活動費補助金	70,000 円														
②平泉町芸術文化協会活動費補助金	100,000 円														
③平泉ユネスコ協会活動費補助金	60,000 円														
④父母と教師の集い開催事業費補助金	100,000 円														
⑤平泉町芸術文化祭実行委員会活動補助金	390,000 円														
⑥コミュニティ・スクール実践区活動費補助金	60,000 円														
⑦地区公民館整備費補助金（6区）	912,000 円														
評価 (主な成果と考察)	各社会教育団体活動の継続化を図るため、活動費補助金等を交付した。活動の更なる活性化を促進させるため継続して支援を行った。														
今後の方向性 (今後の取組み等)	町の社会教育振興のため、継続して各社会教育団体へ補助金を交付していく。また、団体運営や各種活動を支援するため、相談体制の充実に努めながら、各団体の主体的な活動の活性化を促していく。														

具 体 的 施 策	現職研修の充実
事業の内容	<p>社会教育委員、社会教育関係職員、地域ボランティア等を対象に相互連携や、資質向上を図るため、各種研修会へ参加した。</p> <p>1) 岩手県公民館大会・社会教育委員研究大会</p> <p>期 日 7月14日(金)</p> <p>会 場 ビッグルーフ滝沢</p> <p>内 容 表彰、記念講演、事例発表等</p> <p>参加者 8人</p> <p>2) 全国公民館研究集会・東北地区社会教育研究大会</p> <p>※参加なし</p> <p>3) 県教育委員会及び県立生涯学習推進センター主催研修</p> <p>①新任生涯学習関係職員研修講座</p> <p>期 日 5月12日(金)</p> <p>会 場 岩手県立生涯学習推進センター</p> <p>内 容 講義「生涯学習の理念と社会教育」他</p> <p>参加者 1人</p> <p>②地域学校協働活動・教育振興運動市町村担当者研修会</p> <p>期 日 6月7日(水)</p> <p>会 場 岩手県立生涯学習推進センター</p> <p>内 容 行政説明「教育振興運動の歴史と地域学校教育活動・学校運営協議会制度」について他</p> <p>参加者 1人</p> <p>③県南教育事務所管内子どもの読書活動推進会議</p> <p>期 日 5月24日(水)</p> <p>会 場 学習交流施設エピカ</p> <p>内 容 事例紹介・施設見学「平泉町立図書館の読書活動推進の取組・施設紹介」他</p> <p>参加者 4人(関係職員他)</p>

	<p>④県南教育事務所管内読書ボランティア等研修会 期 日 11 月 1 日 (水) 会 場 一関地区合同庁舎 内 容 講義、演習「子ども達に分かりやすく伝えるために」 ～声に出して楽しむ岩手の言葉や文化～他 参加者 2 人</p> <p>⑤家庭教育・子育て支援ネットワーク研修会 期 日 10 月 17 日 (火) 会 場 学習交流施設エピカ 内 容 講義、演習「子どもと支援者が笑顔でかかわりあっ ていくために」他 参加者 4 人 (関係職員他)</p> <p>4) 岩手県社会教育連絡協議会研修 ①社会教育委主事・公民館職員・社会教育指導員等研修会 期 日 11 月 17 日 (金) 会 場 都南公民館 内 容 講演「誰一人として取り残さない社会の実現に向け て」他</p> <p>5) 「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム 期 日 7 月 5 日 (水) 会 場 前沢ふれあいセンター 内 容 講演「コミュニティ・スクールが創り出す情景」他 参加者 25 人 (学校関係者、地域住民他)</p> <p>6) 一関地方社会教育連絡協議会研修 ①一関地方社会教育連絡協議会研修会 期 日 6 月 27 日 (木) 会 場 東山市民センター 内 容 講演「令和の時代は、社会教育で地域・学校を活性 化」～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動 シンの一体化をめざして～他 参加者 12 人 (社会教育委員等)</p> <p>②社会教育部会研修会 期 日 10 月 13 日 (火) 会 場 一関保健センター 内 容 講演「多様な性・LGBTQ+について学ぼう！！」他 参加者 3 人 (社会教育委員等)</p> <p>③社会教育文化振興部会 期 日 12 月 14 日 (木) 会 場 石巻市博物館他 内 容 各施設の見学等 参加者 2 人 (社会教育委員)</p> <p>7) 社会教育委員研修会 ※未実施</p>
評 価 (主な成果と考察)	県教育委員会や各関係機関による研修会について、各種学習機会の提供に努めた。
今 後 の 方 向 性 (今後の取組み等)	引き続き対象者への積極的な情報提供を行い、資質向上を図るための研修会への参加を促していく。

具 体 的 施 策	青少年教育
事 業 の 内 容	<p>1) 親子ふれあい教室</p> <p>①対象者 小学生第1学年～第3学年とその保護者</p> <p>②実施回数 実施4回</p> <p>③参加人数 延べ72人</p> <p>④実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月24日(土) 遠足、施設見学(花巻市) ・ 7月23日(日) いわなのつかみ取り(奥州市) ・ 10月1日(日) 遠足、施設見学(登米市) ・ 12月16日(土) クリスマスリースづくり(町内) <p>2) わんぱく塾</p> <p>①対象者 小学生第4学年～第6学年</p> <p>②実施回数 実施6回</p> <p>③参加人数 延べ173人</p> <p>④実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月8日(土) デイキャンプ(町内) ・ 8月26日(土) いわなのつかみ取り(奥州市) ・ 9月23日(土) 塩づくり体験、施設見学(気仙沼市) ・ 10月28日(土) 科学館見学、アスレチック体験(仙台市) ・ 11月25日(土) 豚まんづくり体験と施設見学(登米市) ・ 1月15日(月) スケート体験(花巻市) <p>3) かるた教室(学習交流施設事業)</p> <p>①対象者 幼保園児(年長)～小学生</p> <p>②実施回数 4回</p> <p>③参加人数 延べ32人</p> <p>④実施日 1月9日(火)～1月12日(金)</p> <p>⑤場 所 学習交流施設エピカ多目的ホール</p> <p>4) パソコンキッズスクール(学習交流施設事業)</p> <p>①対象者 小学生第4学年～第6学年</p> <p>②実施回数 3回</p> <p>③参加人数 延べ24人</p> <p>④実施日 7月25日(火)～7月27日(木)</p> <p>⑤場 所 学習交流施設エピカ IT 室</p> <p>5) 少年少女将棋教室(学習交流施設事業)</p> <p>①対象者 小学生</p> <p>②実施回数 4回</p> <p>③参加人数 延べ22人</p> <p>④実施日 3月20日(水)～3月23日(土)</p> <p>⑤場 所 学習交流施設研修室</p> <p>6) マインクラフト教室(学習交流施設事業)</p> <p>①対象者 小学5年生～中学生</p> <p>②実施回数 3回</p> <p>③参加人数 延べ21人</p> <p>④実施日 8月9日(水)</p> <p>⑤場所 学習交流施設エピカ多目的ホール</p> <p>7) 親子イタリア語教室(学習交流施設事業)</p> <p>①対象者 園児～児童と保護者</p> <p>②実施回数 3回</p> <p>③参加人数 延べ19人</p>

	④実施日 12月3日(日)、12月10日(日)、 12月17日(日) ⑤場所 学習交流施設エピカ多目的ホール 8) Happy day in Epica (学習交流施設事業) ①対象者 中学卒業生 ②実施回数 1回 ③参加人数 7人 ④実施日 3月23日(土) ⑤場所 学習交流施設エピカ多目的ホール
評価 (主な成果と考察)	町民がふれあい、学びを深める中で、お互いの連携意識の高揚と創造性を育み、豊かな生活を構築することを目的に、各種事業や学習活動の場を提供した。
今後の方向性 (今後の取り組み等)	学校とは違った体験や学習を通じ、集団行動やリーダー育成のほか個人の自発性の向上などの育成にもつながることから、今後も継続して実施していく。

具体的施策	女性教育
事業の内容	1) 女性学級 未実施 ①対象者 町内在住、在勤の女性
評価 (主な成果と考察)	教育委員会事務局内で多様性や男女共同参画の視点から女性教育のあり方や事業の方向性について検討を行った。
今後の方向性 (今後の取り組み等)	女性を中心とした学習機会の提供を図れるよう、平泉町地域婦人団体協議会を中心に協議しながら取り組み内容等について検討していく。

具体的施策	青年教育
事業の内容	1) 成人式 ○令和6年成人式 開催日 1月7日(日) 場 所 学習交流施設エピカ 対象者 平成15年4月2日から平成16年4月1日生 出席者 48人
評価 (主な成果と考察)	式典対象者による実行委員会を組織し、当事者の意見を反映させながら、充実した式典内容にすることができた。実行委員会主催のアトラクションを開催し、参加者(式典対象者)の近況報告、恩師からのお祝いの言葉や、写真撮影等を行いながら、旧友や恩師との再会を喜んでいた。
今後の方向性 (今後の取り組み等)	今後も式典対象者による成人式実行委員会を組織し、連携を図りながら、当事者の意見を式典に取り入れられるよう努めていく。また、実行委員会主催の記念事業の企画・実施を支援する等、思い出に残る式典とできるよう努めていく。

具体的施策	一般成人教育(学習交流施設事業)
事業の内容	1) 歴史教室 【第1回】 ①期 日 12月12日(火) ②内 容 講演「中尊寺の謎」 ③講 師 平泉文化遺産センター 館長補佐 島原弘征 氏 ④参加者 28人

	<p>【第2回】</p> <p>①期 日 1月21日（日）</p> <p>②内 容 講演「金色堂の不思議」</p> <p>③講 師 県立平泉世界遺産ガイドセンター センター長 八重樫忠郎 氏</p> <p>④参加者 51人</p> <p>【第3回】</p> <p>①期 日 2月14日（水）</p> <p>②内 容 講演「よみがえる金色堂」</p> <p>③講 師 平泉文化遺産センター 参与 千葉信胤 氏</p> <p>④参加者 67人</p> <p>【第4回】</p> <p>①期 日 3月2日（土）</p> <p>②内 容 講演「徳尼公と酒田三十六人衆」～平泉と酒田 のご縁～</p> <p>③講 師 酒田三十六人衆代表 須藤秀明 氏</p> <p>④参加者 72人</p>
評価 （主な成果と考察）	「清衡公の頃の平泉」をテーマに金色堂や酒田市との縁について講演を行ったところ、参加者からは「金色堂の知らなかった点が明らかになった」等の好評を得ることができた。
今後の方向性 （今後の取組み等）	今後も、様々な角度から平泉の歴史や文化に関する学習機会の提供に努め、内容の充実を図っていく。

具体的施策	高齢者教育
事業の内容	<p>1) 東夷大学・東稲大学</p> <p>高齢者が健康で生きがいに満ちた生活を送るための一助として、平泉及び長島地区にそれぞれ高齢者学級を開設し、学習や交流の場を提供する。</p> <p>①大 学 名 東夷大学（平泉地区）、東稲大学（長島地区）</p> <p>②実施回数 各6回</p> <p>③参加人数 東夷大学 延べ182人 東稲大学 延べ108人</p> <p>④実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月19日（月）健康体操 ・7月18日（火）防犯・栄養講座 ・9月6日（水）9月13日（水） 町外研修 遠野市 ・10月28日（金）マッサージ講座 ・11月15日（水）11月16日（木） 町外研修 気仙沼市 ・12月5日（火）歴史講話
評価 （主な成果と考察）	平泉地区及び長島地区にそれぞれ高齢者学級を開設して、心身ともに健康で生きがいに満ちた生活の手助けとなるよう各種学習機会の提供に努めた。
今後の方向性 （今後の取組み等）	高齢者のニーズに合わせた体験学習の機会をさらに充実させ、交流・コミュニティの形成のきっかけになるよう準備を進めていく。

具 体 的 施 策	町民講座（学習交流施設事業）
事 業 の 内 容	<p>1) 登山教室</p> <p>①実施回数 3回</p> <p>②参加人数 延べ47人</p> <p>③実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月19日（金）亀山（気仙沼市） ・7月22日（土）七時雨山（八幡平市） ・9月20日（水）三ツ石山（八幡平市） <p>2) ガーデニング教室</p> <p>①実施回数 3回</p> <p>②参加人数 延べ28人</p> <p>③実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月27日（火）ミニチュアガーデン作り（一関市） ・9月15日（金）ギャザリング講習（栗原市） ・12月18日（月）門松寄せ植え（エピカ） <p>3) ウォーキング教室</p> <p>①実施回数 実施6回</p> <p>②参加人数 延べ88人</p> <p>③実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月18日（火）〔観桜編〕平筒沼ふれあい公園（約4.5km） ・5月12日（金）〔潮風編〕唐桑瀬戸コース（約5.0km） ・6月6日（火）〔潮風編〕海に見える命の森コース（約4.8km） ・9月5日（火）〔潮風編〕大谷海岸（約4.8km） ・10月5日（木）〔潮風編〕鼎が浦（約5.0km） ・11月14日（火）〔潮風編〕広田半島黒崎（約4.2km） <p>4) 大人のスマホ教室</p> <p>①期日／回数 6月22日（木）、8月24日（木）、12月6日（水）／5回</p> <p>②参加人数 延べ34人</p> <p>③実施内容 スマートフォンの基本操作の習得 講師：ドコモショップ一関東店 店員</p> <p>5) みんなの料理教室</p> <p>①実施回数 6回</p> <p>②参加人数 延べ34人</p> <p>③実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月28日（金）つけもの（ナスの日本酒漬ほか） ・8月30日（水）中華料理（白菜と春雨の旨煮ほか） ・9月27日（水）かんたんおつまみ（グラタンほか） ・10月31日（火）和食料理（キノコの炊込みご飯ほか） ・11月29日（水）洋食料理（チキンのトマトソース煮ほか） ・12月19日（火）洋食料理（煮込みハンバーグほか） <p>6) 謡曲教室</p> <p>①期日／回数 1～2月／5回</p> <p>②参加人数 延べ57人 講師：平泉喜桜会 鈴木四郎氏</p> <p>7) 苔玉教室</p> <p>①実施日 10月3日（火）</p>

	<p>②参加人数 9人</p> <p>③実施内容 苔玉作り 講師：沖山悟氏</p> <p>8) マーブルアート教室</p> <p>①期日／回数 10月／3回</p> <p>②参加人数 延べ23人</p> <p>③実施内容 マーブルアート作り 講師：マーブルアート認定講師 菅原文子氏</p> <p>9) 一閑張り教室</p> <p>①期日／回数 8～9月／4回</p> <p>②参加人数 延べ22人</p> <p>③実施内容 ザル・小物入れ制作 講師：小岩和子氏</p> <p>10) パークゴルフ教室</p> <p>①実施回数 実施3回</p> <p>②参加人数 延べ34人</p> <p>③実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月25日（木）気仙沼パークゴルフ場 ・ 10月19日（木）矢本海浜緑地パークゴルフ場 ・ 10月19日（木）矢本海浜緑地パークゴルフ場 <p>11) 和の小物作り教室</p> <p>①期日／回数 9～10月／3回</p> <p>②参加人数 延べ29人</p> <p>③実施内容 和の小物作り制作 講師：coco color 菊池心氏</p> <p>12) 一期一会の中国茶会</p> <p>①実施日 9月7日（木）</p> <p>②参加人数 8人</p> <p>③実施内容 お茶の種類、中国式茶道の学び 講師：曲騁驊氏</p>
評価 （主な成果と考察）	回数及び内容的にも充実した講座を提供することができた。また、各講座とも、受講者アンケートでは高評価を得ることができた。
今後の方向性 （今後の取り組み等）	町民がふれあい、学びを深める中で、お互いの連携意識の高揚と創造性を育み、豊かな生活を構築することを目的に、各種事業や学習活動を展開していく。

（3）家庭教育の充実【主要施策】

具体的施策	家庭教育の推進
事業の内容	<p>1) 幼児学級・家庭教育学級の開設</p> <p>町内の幼稚園、保育所及び小・中学校にそれぞれ幼児学級又は家庭教育学級を開設し、延べ6回実施し580人が参加した。</p> <p>①二葉きらり園幼児学級（保護者20人、幼児20人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月28日（土）講演「わくわくコンサート」 <p>②長島保育所幼児学級（保護者54人、幼児48人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月6日（金）講演「親子ビスク」（保護者42人、幼児36人） ・ 1月11日（木）お茶会（保護者12人、幼児12人） <p>③平泉小学校家庭教育学級（未実施）</p>

	<p>④長島小学校家庭教育学級（参加者 308 人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10 月 25 日（水）講演「幼少期の基本的な生活習慣」（保護者 8 人） ・ 11 月 11 日（土）親子ふれあいコンサート（総勢約 300 人） <p>⑤平泉中学校家庭教育学級（保護者 5 人／生徒 57 人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 12 月 8 日（金）講話「親子で考える性の話」
評価 （主な成果と考察）	昨年度より実施回数を増やし、多くの参加者が集まった。また、子どもたちが成長するための基礎となる家庭教育力の向上を図るため、各学校等において家庭教育学級を開設し家庭教育の支援に努めた。
今後の方向性 （今後の取り組み等）	家庭の教育力の向上を図るため、引き続き、学校や保護者・地域が連携し家庭教育に関する学習の機会を提供する。また、目的を明確にしながら、講座内容の精査を行っていく。

（４）平泉の将来を担う人材の育成【主要施策】

具 体 的 施 策	コミュニティ・スクールの推進
事業の内容	<p>地域ぐるみで町の将来を担う子どもたちを育むため、地域ぐるみで共通の目標を持ち、連携・協働しながら様々な活動に取り組む体制の整備を図った。</p> <p>1) コミュニティ・スクール推進協議会総会</p> <p>Ⅰ. 学校教育 1 子どもの教育の充実【基本施策】（５）社会に開かれた教育課程の推進にて評価（８～９頁参照）</p> <p>2) 学校運営協議会の設置・開催支援</p> <p>Ⅰ. 学校教育 1 子どもの教育の充実【基本施策】（５）社会に開かれた教育課程の推進にて評価（８～９頁参照）</p> <p>3) コミュニティ・スクール推進大会（生涯学習町民のつどい）</p> <p>Ⅱ. 社会教育 1 生涯学習・社会教育の推進【基本施策】（２）生涯にわたって学ぶことができる学習環境づくりにて評価（12～13頁参照）</p> <p>4) 情報誌の発行</p> <p>情報誌「C・S通信」の発行（各 3,500 部）</p> <p>C・S通信第 3 号 3 月 31 日（日）</p> <p>5) 親子ふれあい体験教室</p> <p>日 時 11 月 4 日（土）～5 日（日）</p> <p>※ひらいずみ芸術文化祭で開催</p> <p>場 所 学習交流施設エピカ</p> <p>参加者 親子等 計 172 人</p> <p>内 容 親子や家族で楽しめるイベント、体験活動等</p> <p>①い～はと～ぶ音楽祭 in ひらいずみ芸術文化祭</p> <p>出演：吉野 崇さん他</p> <p>参加者：150 人</p> <p>②絵本読み聞かせライブ</p> <p>出演：オンサンデイズ</p> <p>参加者：20 人</p> <p>③親子手作り体験教室</p> <p>むかし遊び体験、パタパタおもちゃ作り体験</p> <p>講師：及川 郁夫さん、地域ボランティア</p> <p>参加者：32 人</p> <p>④「平泉のかをり」体験コーナー</p> <p>講師：平泉のかをり創造プロジェクト</p> <p>参加者：78 人</p>

	<p>⑤世界遺産キャンドル制作体験コーナー 講師：平泉ピュアランドプロジェクト 参加者：28 人</p> <p>6) 実践区活動 平泉小、長島小及び平泉中の各実践区における「平泉学」や「情報メディアに関する取組」、「家庭学習の充実」、「教育支援活動」などの実践</p> <p>7) 地域学習（平泉学習）への取り組み 子どもを中心に保護者、地域住民が一堂に会し、地域の歴史や文化などを学ぶ地域学習を行政区毎に開催 ○実施行政区数 15 行政区 ○参加者 延べ 513 人（子ども 199 人、保護者 131 人、地域 183 人） ○内容 地元歴史学習、制作活動、伝統行事体験 他</p>
評価 (主な成果と考察)	<p>各学校運営協議会に教育委員会事務局担当者等がオブザーバーで参加し、開催支援に努めた。</p> <p>地域学習（平泉学習）については、子ども・親・地域が連携し、世代を超えた交流を生み出しながら地域を知り、学びを深めることができた。</p>
今後の方向性 (今後の取組み等)	<p>コミュニティ・スクールの取り組みについては、令和 5 年度の成果を活かしながら、学校運営に関する課題を共有・協議するとともに各種活動の精査と改善に取り組み、実効性のある推進体制のもと、学校と地域との一層の連携を図り、地域とともにある学校づくりにつなげていく。</p>

具体的施策	地域学校協働活動推進事業
事業の内容	<p>1) 放課後子ども教室 放課後や週末等に小学校の余裕教室などを活用して、地域ボランティアの協力を得ながら、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などによる子どもの居場所づくりを行った。</p> <p>○教室数 3 教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平泉わくわくフィールド」（平泉小） 6 月から 3 月まで、月曜日及び木曜日（隔週等）を基本に年間 28 回開催 児童 延べ 1,110 人 学習アドバイザー 延べ 75 人 ボランティア 延べ 60 人 ・「長島わくわくフィールド」（長島小） 6 月から 3 月まで、月曜日及び木曜日（隔週等）を基本に年間 27 回開催 児童 延べ 612 人 学習アドバイザー 延べ 70 人 ボランティア 延べ 20 人 ・「平泉中わくわくフィールド」（平泉中） <p>※Ⅳ. 文化行政 3 芸術・文化の振興（1）地域の伝統文化の保存と継承としても実施 土曜学習 郷土芸能体験講座「達谷窟毘沙門神楽」 町内小学校高学年から中学生を対象に、地域の伝統芸能を学ぶ郷土芸能体験講座「達谷窟毘沙門神楽」を実施</p> <p>受講生 平泉中 5 人、平泉小 4 人 参加者 延べ 130 人 講師（達谷窟毘沙門神楽） 延べ 111 人</p>

	<p>※実践発表</p> <p>10月1日（日）中尊寺ホコ天まつり 10月22日（日）平泉中学校文化祭 11月4日（土）南部神楽鑑賞会 11月5日（日）ひらいずみ産業まつり 2月17日（土）生涯学習町民のつどい 3月23日（土）講座最終回（保護者参観）</p> <p>2）学校支援地域本部事業</p> <p>地域住民の協力（学校支援ボランティア）を得ながら、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整え、学校の要請に応えるさまざまな学校支援活動を行うことによって教員の負担を軽減し、子どもたちに向き合い、きめ細かな指導ができる時間の拡充を図った。</p> <p>○実施学校数 3学校（平泉小、長島小、平泉中）</p> <p>○学習支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平泉小…読み聞かせ、スポーツテスト補助、菊作り、生け花、登下校見守り、清掃指導、学習支援、消毒ボランティアなど →ボランティア 延べ回数 297 回、延べ人数 6,122 人 ・長島小…読み聞かせ、マラソン大会補助、草刈り、登下校見守り、学習支援、消毒ボランティアなど →ボランティア 延べ回数 273 回、延べ人数 3,781 人 ・平泉中…学習支援、環境整備、部活動指導など →ボランティア 延べ回数 453 回、延べ人数 1,324 人
評価 (主な成果と考察)	<p>放課後子ども教室は、地域住民等の参画を得ながら、子どもたちの放課後における学習支援や体験活動のほか、地域の伝統芸能を学び、実践する機会として内容の充実を図った。</p> <p>学校支援地域本部事業では、各校配置の地域教育コーディネーターを中心に学校のニーズに応じた学校支援活動に取り組んだ。</p>
今後の方向性 (今後の取組み等)	<p>放課後子ども教室については、児童の受け入れ可能人数を考慮しながら実施内容の拡充を図っていく。</p> <p>学校支援地域本部事業では、コミュニティ・スクールとの連携のもと、新たな地域人材（学校支援ボランティア等）の掘り起こしに取り組み、各種活動のさらなる充実を図っていく。</p>

具体的施策	「過去に学び、今を見つめ、未来を考える」平泉ひとづくり事業
事業の内容	<p>1）わくわく平泉学スクール</p> <p>私たちが住む町「ひらいずみ」について、子ども達が郷土の歴史や文化、産業などを様々な角度から楽しく、わかりやすく学習する機会を提供するとともに、次代を担う子ども達の情操教育・郷土愛の醸成を図った。また、講師を町内から選定し、様々な分野における「ひらいずみ」の持つ魅力を子ども達に提供しながら、世代間交流につなげた。</p> <p>【平泉小学校】</p> <p>① 6月8日（木）講話、達谷西光寺見学 第3学年 44人 ② 6月17日（金）調べ学習「平泉の自慢の場所」 第3学年 49人 ③ 7月10日（月）講話「平泉の魅力発見」第6学年 20人</p>

	<p>【長島小学校】</p> <p>① 6月28日（水）歴史講話・施設見学 第6学年 14人</p> <p>② 6月28日（木）ガイド付き現地見学「中尊寺見学」 第5学年 13人</p> <p>③ 8月30日（水）歴史講話・大文字計測 第4学年 13人</p> <p>【平泉中学校】</p> <p>① 6月6日（火）座禅体験 第1学年 49人</p> <p>② 6月9日（金）写経体験 第1学年 49人</p> <p>③ 9月1日（金）発掘・拓本体験 第1学年 49人</p> <p>④ 9月8日（金）平和学習講座 第3学年 55人</p> <p>⑤ 10月11日（水）ガイド体験学習第3学年 57人</p> <p>2) 黄金平泉情報発信プロジェクト 東京都小笠原村を訪問し、児童生徒との交流事業を開催した。</p> <p>○開催日 12月16日（土）～21日（木）</p> <p>○場所 東京都小笠原村</p> <p>○参加者 平泉小第6学年2人、長島小第6学年2人 平泉中第2学年2人</p> <p>○内容 歴史学習、平和学習、自然・環境学習、児童生徒交流など</p>
評価 (主な成果と考察)	<p>各学校の開催希望に応じてわくわく平泉学スクールを開催し、子どもたちへ平泉を学び、体験する機会を継続して提供しながら、郷土への愛着と誇りの醸成を図った。</p> <p>黄金平泉情報発信プロジェクトでは、東京都小笠原村を訪問し、情報発信に向けた取り組み、児童生徒による交流や学び合いを通じて、青少年リーダーの育成につなげることができた。</p>
今後の方向性 (今後の取り組み等)	<p>今後も平泉ひかりスクールを開催し、学校教育と社会教育の連携による「郷土への愛着と誇りの醸成」に取り組んでいく。</p> <p>黄金平泉情報発信プロジェクトは、今後「平泉ひかりプロジェクト」として、全国各地の平泉ゆかりの地や世界遺産関連地から訪問先を選定し、宿泊研修を実施していく。</p>

Ⅲ. 生涯スポーツ

1 生涯スポーツの推進【基本施策】

(1) それぞれの年代等に応じたスポーツ活動の推進【主要施策】

具体的施策	生涯スポーツ推進体制の整備充実
事業の内容	<p>1) スポーツ推進委員会議の開催 社会体育振興や各種スポーツ大会等について、会議を開催し協議を行った。</p> <p>① 4月27日（木）令和5年度社会体育事業等について</p> <p>② 5月23日（火）ニュースポーツ講習会について</p> <p>③ 6月14日（水）ニュースポーツ講習会について</p> <p>④ 7月25日（火）壮年ソフトボール大会について</p> <p>⑤ 8月17日（木）壮年ソフトボール大会について</p> <p>⑥ 9月26日（火）第64回全国スポーツ推進委員研究協議会青森大会について</p> <p>⑦ 11月10日（金）親子スポーツ大会について</p> <p>⑧ 12月5日（火）親子スポーツ大会について</p> <p>⑨ 1月23日（火）ニュースポーツ体験会について</p> <p>⑩ 3月12日（火）令和5年度社会体育事業実績について</p>

	2) 地区スポーツコーディネーター会議の開催 6月28日(水)令和5年度社会体育事業計画について ふるさとオリンピック2023について
評価 (主な成果と考察)	各種会議の開催により、前年度の反省点を踏まえて各事業を進めることができ、各大会の参加者数増につなげることができた。
今後の方向性 (今後の取り組み等)	引き続き、関係者との十分な情報共有を図りながら、各事業に向けて準備していく。また、ニュースポーツイベントについて検討し、町民へスポーツ活動の場の提供を図っていく。

具体的施策	スポーツ・レクリエーション実践活動の促進
事業の内容	<p>1) スポーツ・レクリエーション大会、教室 スポーツ協会との連携事業であるふるさとオリンピック2023は、7種目全て実施することができた。</p> <p>○ふるさとオリンピック2023(7種目)</p> <p>①グラウンドゴルフ 7月12日(水)14行政区 56人</p> <p>②野球大会 8月13日(日)～15日(火)12行政区180人</p> <p>③壮年ソフトボール大会 8月28日(月)～30日(水) 14行政区260人</p> <p>④モルック 9月24日(日) 6行政区27人</p> <p>⑤ボッチャ 10月9日(月・祝) 4行政区21人</p> <p>⑥壮年ソフトバレー 11月12日(日)5行政区50人</p> <p>⑦ピンポン大会 11月19日(日)9行政区80人</p> <p>○出前スポーツ教室 幼稚園保育所、町民等 年間14教室451人</p> <p>2) 大会支援事業 11月23日(木・祝)開催の日報駅伝大会を支援し、平泉中継所業務及び平泉地内コースにおける交通安全業務を行い運営に協力した。</p> <p>3) 夢の教室事業 夢先生(サッカーを含めた様々なスポーツ選手、OB/OG)の授業を通じ、「夢を持つこと」や「夢に向かって努力すること」の大切さを学ぶことで、児童一人ひとりに自己肯定感や好ましい人間関係を築ける協調性、基本的な道徳観が身につくように支援した。 ※日本サッカー協会「こころのプロジェクト夢の教室」を活用 7月12日(水) 長島小学校 第5学年 参加児童13人 7月13日(木) 平泉中学校 第2学年 参加生徒66人 7月14日(金) 平泉小学校 第5学年 参加児童43人</p>
評価 (主な成果と考察)	継続的で自発的なスポーツ活動の普及のため、ふるさとオリンピックや、出前スポーツ教室の実施により、スポーツ活動の日常化、町民の健康維持、スポーツ活動への関心につなげることができた。
今後の方向性 (今後の取り組み等)	各種大会の開催について、1か月前を目途に、各学校へのチラシ等の配布や町広報誌等により周知していく。また、開催方法など町スポーツ協会と今後も引き続き協議していく。

具体的施策	広報活動の充実
事業の内容	1) 町広報誌を通じた体育関係行事の周知 毎月発行の町広報誌のスポーツコーナーで各種大会結果や、大会案内を掲載した。

	<p>2) 町ホームページを活用した事業紹介 出前スポーツ教室事業のメニューや活動内容を掲載するなど、町民へスポーツに関する情報提供を行った。</p> <p>3) 防災無線によるラジオ体操の啓もう放送</p>
評価 (主な成果と考察)	広報ひらいずみの「スポーツだより」やインターネット等の広報活動を通じ、町民のスポーツ活動に対する意識の啓発、参加促進に努めた。
今後の方向性 (今後の取り組み等)	町広報誌の記事内容の更なる充実を図り、町ホームページの定期的な更新に努めていく。

(2) 未来を担う人材の育成【主要施策】

具体的施策	スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活用促進										
事業の内容	<p>1) スポーツ推進委員関係 スポーツ推進委員を各種研修会へ派遣し、資質の向上を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td>①一関地方スポーツ推進委員協議会総会</td><td>3人</td></tr> <tr> <td>②一関地方スポーツ推進委員協議会研修会</td><td>2人</td></tr> <tr> <td>③岩手県スポーツ推進委員協議会研修会</td><td>5人</td></tr> <tr> <td>④東北地区スポーツ推進委員研修会</td><td>5人</td></tr> <tr> <td>⑤全国スポーツ推進委員研究協議会</td><td>2人</td></tr> </table> <p>2) 出前スポーツ教室での指導者の活用 出前スポーツ教室にスポーツ推進委員を派遣し、指導・助言を行った。</p>	①一関地方スポーツ推進委員協議会総会	3人	②一関地方スポーツ推進委員協議会研修会	2人	③岩手県スポーツ推進委員協議会研修会	5人	④東北地区スポーツ推進委員研修会	5人	⑤全国スポーツ推進委員研究協議会	2人
①一関地方スポーツ推進委員協議会総会	3人										
②一関地方スポーツ推進委員協議会研修会	2人										
③岩手県スポーツ推進委員協議会研修会	5人										
④東北地区スポーツ推進委員研修会	5人										
⑤全国スポーツ推進委員研究協議会	2人										
評価 (主な成果と考察)	スポーツ推進委員の資質の向上を図るため各種研修会・講習会へ派遣し、スポーツ教室等での的確な指導・助言を行った。										
今後の方向性 (今後の取り組み等)	引き続き、スポーツ推進員の資質向上を図りながら、組織強化に取り組む。またニュースポーツ教室等を開催し、各地区のスポーツ振興のため、地区スポーツコーディネーター等に指導を行っていく。										

具体的施策	スポーツ・レクリエーションの実践団体の育成、支援
事業の内容	<p>1) 平泉町スポーツ協会の支援 スポーツ競技人口の拡大を促進するため、協会の組織強化を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金額 1,600,000 円 ・補助内容 <ul style="list-style-type: none"> ①各単位協会への活動費補助 ②県民体育大会参加旅費の補助 ③平泉町スポーツ協会活動費補助
評価 (主な成果と考察)	競技力の向上に努めるとともに、青少年へのスポーツ振興や心身の健全育成を図るため、スポーツ協会、スポーツ少年団への支援を継続して行った。
今後の方向性 (今後の取り組み等)	各団体が活発に活動できるよう引き続き支援を継続していくとともに、併せて各団体の組織の継続を推進していく。

(3) スポーツ環境の整備・活用【主要施策】

具 体 的 施 策	体育施設の整備と活用の促進
事 業 の 内 容	1) 体育施設の開放と利用促進 社会体育施設、学校体育施設を開放し、町民にスポーツの場を提供し、スポーツの日常化を推進した。 ○社会体育施設 ①町立長島体育館 4月1日～ 3月31日 2,234人 ②町営長島球場 4月1日～ 11月30日 2,550人 ③町営テニスコート 4月1日～ 11月30日 2,353人

	<p>○学校体育施設</p> <p>①平泉小学校（体育館、校庭） 4月1日～3月31日 7,571人</p> <p>②長島小学校（体育館、校庭） 4月1日～3月31日 3,450人</p> <p>③平泉中学校（体育館、校庭、柔剣道場） 4月1日～3月31日 10,749人</p> <p>2) 施設管理・整備体制の充実 町立長島体育館及び町営テニスコートクラブハウスに管理人を配置し、社会体育施設（3施設）の施設管理を通年行った。</p> <p>3) 社会体育施設整備等 各施設の修繕工事等を行い、適正管理に努めた。</p> <p>①町立長島体育館 長島体育館アリーナ照明 LED 化工事 1,409,100 円</p> <p>②町営長島球場 平泉町営長島球場芝生管理業務 1,837,000 円 長島球場草刈り業務 99,000 円</p> <p>③町営テニスコート 町営テニスコート整備業務 99,000 円</p>
評価 (主な成果と考察)	学校体育施設、社会体育施設を開放し、地域スポーツ活動の推進及び健康づくりや体力の増進を図ることができた。
今後の方向性 (今後の取り組み等)	体育施設の利用促進のため、引き続き維持管理体制の充実に努めていく。また、利用代表者会議を年に2回開催し、引き続き適切な施設利用について周知を図っていく。

IV. 文化行政

1 世界文化遺産の保存と活用【基本施策】

(1) 平泉の文化遺産の調査・保全【主要施策】

具 体 的 施 策	平泉の文化遺産の調査・保全
事業の内容	<p>1) 「平泉の文化遺産」拡張登録検討委員会 第20回世界遺産拡張登録検討委員会 3月3日（日）：リモート会議</p> <p>2) 平泉遺跡群調査整備推進会議 柳之御所遺跡調査・整備、名勝旧観自在王院庭園の調査、特別史跡無量光院跡の整備について意見等を頂いた。</p> <p>①第1回本会議 6月16日（金） ②第2回本会議 9月29日（金） ③第3回本会議 2月14日（水）</p> <p>3) 「平泉の文化遺産」関係県市町課室長会議 4月19日（水）内容：4年度事業報告、5年度事業計画 8月1日（火）内容：拡張登録に係る今後の進め方について</p> <p>4) 拡張登録に関するワーキング・県市町連絡調整会議 岩手県、奥州市、一関市、平泉町の担当者による拡張登録にかかる調査研究や保存管理等について協議を行った。 日時：5月24日（月）、7月7日（金）、7月19日（水） 8月17日（木）</p> <p>5) 「平泉の文化遺産」拡張登録に係る会議 今後の拡張登録の取組について、協議・検討を行った。</p>

	①県・関係市町教育長等会議 8月23日（水） ②拡張登録に係る関係者会議 8月30日（水）
評価 （主な成果と考察）	文化遺産の適切な保護を図りながら、無量光院跡の復元整備を推進した。世界遺産拡張登録については、県と3市町で協議し、柳之御所遺跡を追加する資産とすること、ひらいずみ遺産として位置づけることを申し合わせ、これまでの活動のひと区切りとなり、今後の取組方針が定められた。
今後の方向性 （今後の取組み等）	今後も、各種事業を通じて、平泉の文化遺産が持つ魅力や価値を町内外の人に分かりやすく伝わるように努めていく。 拡張登録については、関係機関と連携して登録に向けた作業を進め、拡張登録を目指す関連資産は構成資産と共にひらいずみ遺産として、調査研究や価値発信に取り組んでいく。

（２）平泉の文化遺産の理念の普及【主要施策】

具 体 的 施 策	文化遺産の公開・活用																																																								
事 業 の 内 容	1) 平泉文化遺産センターの運営 ①平泉文化遺産センターの入館者実績 令和5年度入館者 35,582 人（前年比 105.0%、1,709 人増） (単位：人)																																																								
	<table><tr><td>月</td><td>展示室観覧者数</td><td>施 設 利 用 数</td><td>入 館 者 合 計</td></tr><tr><td>4 月</td><td>2,081</td><td>51</td><td>2,132</td></tr><tr><td>5 月</td><td>4,750</td><td>1,490</td><td>6,240</td></tr><tr><td>6 月</td><td>2,859</td><td>212</td><td>3,071</td></tr><tr><td>7 月</td><td>2,896</td><td>110</td><td>3,006</td></tr><tr><td>8 月</td><td>4,894</td><td>228</td><td>5,122</td></tr><tr><td>9 月</td><td>3,273</td><td>161</td><td>3,434</td></tr><tr><td>10 月</td><td>3,226</td><td>122</td><td>3,348</td></tr><tr><td>11 月</td><td>3,071</td><td>260</td><td>3,331</td></tr><tr><td>12 月</td><td>1,182</td><td>53</td><td>1,235</td></tr><tr><td>1 月</td><td>802</td><td>90</td><td>892</td></tr><tr><td>2 月</td><td>1,417</td><td>177</td><td>1,594</td></tr><tr><td>3 月</td><td>2,080</td><td>97</td><td>2,177</td></tr><tr><td>合 計</td><td>32,531</td><td>3,051</td><td>35,582</td></tr></table>	月	展示室観覧者数	施 設 利 用 数	入 館 者 合 計	4 月	2,081	51	2,132	5 月	4,750	1,490	6,240	6 月	2,859	212	3,071	7 月	2,896	110	3,006	8 月	4,894	228	5,122	9 月	3,273	161	3,434	10 月	3,226	122	3,348	11 月	3,071	260	3,331	12 月	1,182	53	1,235	1 月	802	90	892	2 月	1,417	177	1,594	3 月	2,080	97	2,177	合 計	32,531	3,051	35,582
	月	展示室観覧者数	施 設 利 用 数	入 館 者 合 計																																																					
	4 月	2,081	51	2,132																																																					
	5 月	4,750	1,490	6,240																																																					
	6 月	2,859	212	3,071																																																					
	7 月	2,896	110	3,006																																																					
	8 月	4,894	228	5,122																																																					
	9 月	3,273	161	3,434																																																					
	10 月	3,226	122	3,348																																																					
	11 月	3,071	260	3,331																																																					
	12 月	1,182	53	1,235																																																					
	1 月	802	90	892																																																					
	2 月	1,417	177	1,594																																																					
	3 月	2,080	97	2,177																																																					
	合 計	32,531	3,051	35,582																																																					
	2) 平泉文化の総合的研究の実施 ・第4回平泉学研究会：2月3日（土）【奥州市】 ・第4回平泉学フォーラム：2月4日（日）【奥州市】																																																								
	評 価 (主な成果と考察)	平泉文化遺産センターの入館者数は、特別展や企画展等の開催により、前年比 5.0%増となり若干増加した。 館内では、映像・音声ガイドやパネル展示、展示図録の販売により平泉文化のわかりやすい紹介を行った。																																																							
今 後 の 方 向 性 (今後の取組み等)	映像機器等の更新を検討しながら、より平泉文化の分かりやすい紹介に努めていく。 関係機関と連携しながら、平泉文化の総合的研究を進め、成果の公開を行っていく。																																																								

具 体 的 施 策	平泉の文化遺産に係る普及啓発												
事 業 の 内 容	1) 平泉町世界遺産推進協議会活動 令和5年度会員数 362 人（町内外、個人・団体） <table><tr><td colspan="2">期 日</td><td>内 容</td></tr><tr><td>1</td><td>6 月26 日（月）</td><td>役員会</td></tr><tr><td>2</td><td>7 月13 日（木）</td><td>総会</td></tr><tr><td>3</td><td>11月 8 日（水）</td><td>研修会（福島県国見町）</td></tr></table>	期 日		内 容	1	6 月26 日（月）	役員会	2	7 月13 日（木）	総会	3	11月 8 日（水）	研修会（福島県国見町）
	期 日		内 容										
	1	6 月26 日（月）	役員会										
	2	7 月13 日（木）	総会										
	3	11月 8 日（水）	研修会（福島県国見町）										
	2) 世界遺産「平泉」の関連資産を巡るバスツアー 期日：3 月 6 日（水）奥州市、平泉町 参加者 32 名 3 月 7 日（木）一関市、平泉町 参加者 33 名												
	3) 広報・ホームページによる情報発信 町ホームページや町広報誌に掲載して、「平泉の文化遺産」の情報発信や普及啓発を行った。												
	4) 環境整備の日 平泉の景観を守るとともに、世界遺産のまちにふさわしい環境にするため、基準日を設定して、環境整備活動を実施した。 （基準日：6 月 25 日（日））												
	5) 平和の祈り 平泉に込められた平和・平等の理念を世界に向けて発信した。 日 時 6 月 29 日（木） 会 場 毛越寺 内 容 町内僧侶による練行・法要 参加者 180 名												
	6) ときめき世界遺産塾講座 対象：県南地区の小学4年生～中学3年生 期日：① 7 月 25 日（火）毛越寺、中尊寺 ② 8 月 3 日（木）～4 日（金） 立石寺（山形市）、泉流寺（酒田市）など ③ 9 月 2 日（土）長者ヶ原廃寺跡、白鳥館遺跡 ④ 10 月 7 日（土）骨寺村荘園遺跡 ⑤ 11 月 18 日（土）平泉文化遺産センター												
7) 岩手県世界遺産保存活用推進協議会 期日：3 月 27 日（水）岩手県庁													
8) 世界文化遺産地域連携会議 ①総会 6 月 20 日（火）東京 ②世界遺産サミット in 斑鳩 10 月 28 日（土）～29 日（日）													
評 価 （主な成果と考察）	各行事を通じて、平泉の文化遺産や歴史・文化について理解を深めることができた。また、2 市 1 町共催で開催した「世界遺産「平泉」史跡探訪」バスツアーでは、多くの参加者があり、平泉の文化遺産や文化財等への関心の高さがうかがえた。												
今 後 の 方 向 性 （今後の取組み等）	世界遺産登録から 13 年が経過し、世界遺産のまちの責務として、平泉の文化遺産を未来に継承していく取り組みを推進するとともに、本質的な文化遺産の価値の再発信に努めていく。												

（3）史跡地の調査・整備、史跡公園の整備・活用【主要施策】

具 体 的 施 策	史跡の調査・整備及び維持管理
事 業 の 内 容	<p>1) 特別史跡無量光院跡保存修理 特別史跡無量光院跡池北東側を対象に復元整備事業を行った。 期間：10 月～3 月 内容：池北東側の護岸・池底、及び修景護岸整備</p>

	<p>2) 名勝旧観自在王院庭園保存整備 旧観自在王院庭園の将来的な再整備に向けて、名勝地西側の南北道路を対象に発掘調査を行った。 期間：8月～11月 面積：120 m²</p> <p>3) 史跡の維持管理</p> <p>①観自在王院跡維持管理…4月～3月 作業員を雇用し、草刈作業等の維持管理を行った。</p> <p>②無量光院跡、花立廃寺、白山社跡、中尊寺跡の維持管理 5月から3月までの間、町シルバー人材センターに委託し実施した。</p> <p>③柳之御所遺跡維持管理…4月～11月 岩手県事業を13区が受託し実施した。</p> <p>④毛越寺弁天池…5月～11月 国有地となっている毛越寺庭園内の弁天池の草刈を毛越寺に委託した。</p> <p>⑤金鶏山眺望確保…12月～2月 山頂からの眺望を確保するため、支障木を伐採した。</p> <p>4) 岩手県史跡整備市町村協議会 史跡等が所在する県内32市町村で組織し、担当者研修や、文化財関係予算の確保・要望活動を行っている。会長には平泉町長が就任し、事務局を平泉文化遺産センターが努めている。</p> <table><tr><th colspan="2">期 日</th><th>内 容</th></tr><tr><td>1</td><td>6月23日（金）</td><td>岩手県史跡整備市町村協議会総会（紫波町）</td></tr><tr><td>2</td><td>2月19日（月） 20日（火）</td><td>文化財担当者研修会（大槌町）</td></tr></table>	期 日		内 容	1	6月23日（金）	岩手県史跡整備市町村協議会総会（紫波町）	2	2月19日（月） 20日（火）	文化財担当者研修会（大槌町）
期 日		内 容								
1	6月23日（金）	岩手県史跡整備市町村協議会総会（紫波町）								
2	2月19日（月） 20日（火）	文化財担当者研修会（大槌町）								
評価 （主な成果と考察）	<p>文化財の保存活用のため、史跡地の適切な環境整備を行い、良好な環境の維持管理を行った。</p> <p>無量光院跡の整備では、池北東側の護岸・池底及び修景護岸の整備を行った。旧観自在王院庭園では内容確認調査を実施し、新旧二層の石敷きなどの情報を得ることができた。</p>									
今後の方向性 （今後の取組み等）	<p>観自在王院跡の発掘調査を推進し適切な保護を図るとともに、無量光院跡の復元整備を行い、今後も文化財を後世に伝えていくための環境整備に努めていく。</p>									

2 文化財の調査研究の推進【基本施策】

（1）有形・無形文化財の調査研究と保全【主要施策】

具 体 的 施 策	有形・無形文化財の調査研究と保全
事業の内容	<p>1) 特別史跡毛越寺境内附鎮守社跡保存修理事業 事業主体：毛越寺 事業内容：中間報告書の作成・刊行、遣水修理 円隆寺基壇の発掘調査</p> <p>2) 県指定木造不動明王坐像保存修理 事業主体：達谷西光寺 事業内容：修理彫刻</p> <p>3) 未指定文化財の調査 調査候補リストの作成</p>

	<p>4) 文化財調査委員会議</p> <p>文化財の保護、調査研究を進めるため、調査委員会議を開催し、有形文化財や埋蔵文化財発掘調査への指導を頂いた。</p> <p>第1回 11月30日(木)</p> <p>第2回 3月4日(月)</p>
評価 (主な成果と考察)	毛越寺庭園の保存修理、達谷西光寺の木造不動明王坐像修理などの事業において、文化庁及び関係機関と協議し、適切に事業を進めた。また、未指定文化財の調査候補リスト作成や文化財調査委員の指導により、文化財の保護、調査研究の促進が図られた。
今後の方向性 (今後の取組み等)	有形・無形文化財の調査・保全にかかる事業においては、所有者及び関係機関と連携を図りながら実施し、文化財の保護、調査研究の推進に努めていく。

(2) 埋蔵文化財の保護【主要施策】

具体的施策	埋蔵文化財の保護
事業の内容	<p>1) 町内遺跡発掘調査</p> <p>遺跡内における建設工事や宅地開発等について、関係機関の協力を得ながら、発掘調査を6件実施した。</p> <p>2) 工事立会</p> <p>遺跡内で小規模な工事、もしくは埋蔵文化財を壊さない範囲での工事が行われる場合には埋蔵文化財の有無を確認するための工事立会を29件行った。</p>
評価 (主な成果と考察)	個人住宅等に係る記録保存調査を実施し、遺跡解明の資料を得るとともに、適切な遺跡の保護措置を取りながら、埋蔵文化財と開発事業との調和を図った。
今後の方向性 (今後の取組み等)	今後も町民の理解と協力を得ながら、埋蔵文化財の発掘調査を実施し、関係機関と連携を取りつつ適切な埋蔵文化財の保護に努めていく。

(3) 文化財の情報発信【主要施策】

具体的施策	文化財の公開・活用
事業の内容	<p>1) 発掘資料の収蔵管理</p> <p>前年度に実施した発掘調査の室内整理を行い、調査で得た遺跡の調査図面、記録写真、出土品を整理し、資料として収蔵した。</p> <p>2) 発掘調査出土品の展示</p> <p>村田林蔵日本画展、金色堂建立900年企画展をはじめとする5つの企画展を開催し、来館者へ公開した。</p> <p>①下田焼展</p> <p>②村田林蔵日本画展</p> <p>③「奥の細道」書道作品展</p> <p>④酒田市の日本遺産展</p> <p>⑤金色堂建立900年企画展</p> <p>⑥長島の縄文出張展示</p> <p>3) 現地説明会や調査報告会の開催</p> <p>発掘調査成果を公表するため観自在王院跡の現地説明会や町内遺跡発掘調査報告会を開催するとともに、広報ひらいずみに調査内容を掲載した。</p> <p>①観自在王院跡現地説明会</p> <p>日時：11月5日(日)</p> <p>②令和5年度平泉町内遺跡発掘調査報告会</p> <p>日時：3月2日(土)</p>

	③広報ひらいずみ「平泉を掘る」コーナーに、調査成果を毎月掲載した。
評価 (主な成果と考察)	発掘調査により出土した資料を整理し、記録類を適切に保管した。また、村田林蔵日本画展をはじめとする企画展や出張展示を計5回開催し、文化財の価値に触れる機会を創出した。また、発掘調査の成果を分かりやすく公表するため、現地説明会や調査報告会を開催し、文化財の保護の普及啓発活動に取り組んだ。
今後の方向性 (今後の取組み等)	現地説明会や調査報告会などの公開・活用を行い、町民の文化財保護に対する理解の促進を図っていく。

具体的施策	文化財愛護の普及
事業の内容	1) 平泉ユネスコ協会活動支援 平泉ユネスコ協会が行う各種活動の支援を行った。 2) 文化財愛護少年団活動支援 文化財を活用した体験学習や募金活動などの支援を行った。 3) 文化財防火訓練の実施 消防関係者、文化財関係者、教育関係者及び地域住民が協力して実施した。※第70回文化財防火デー関連事業 日時 1月28日(日) 場所 中尊寺、毛越寺 4) 県立平泉世界遺産ガイダンスセンター連携協力 金色堂建立900年企画展の実施にあたり、展示内容や時期など連携した取組となるよう協議した。
評価 (主な成果と考察)	平泉ユネスコ協会や愛護少年団への活動支援や文化財防火訓練の実施により、文化財愛護思想の普及啓発を図った。
今後の方向性 (今後の取組み等)	平泉ユネスコ協会や文化財愛護少年団への活動支援、文化財防火訓練の実施により、文化財愛護思想の更なる普及に努めていく。

3 芸術・文化の振興【基本施策】

(1) 地域の伝統文化の保存と継承【主要施策】

具体的施策	地域の伝統文化の保存と継承
事業の内容	1) 郷土芸能体験講座 II. 社会教育(4) 平泉の将来を担う人材の育成 地域学校協働活動推進事業 1) 放課後子ども教室推進事業 土曜学習「神楽体験講座」として評価(22～23頁参照) 2) 南部神楽鑑賞会 地域に伝承されている伝統文化の保存・継承と後継者育成を目的として開催した。 日時 11月4日(土) 会場 平泉文化遺産センター ふれあいホール 内容 郷土芸能体験講座受講生、達谷窟毘沙門神楽ほか3団体による神楽の鑑賞 入場者数 100名 3) 町指定文化財補助金を活用した支援 町指定文化財の所有者が、当該文化財の維持管理又は修理等を行う際に要する費用に対し、一件50万円を上限として補助を行っている。年度初めに所有者に対して補助金制度について周知してきたが、令和5年度の申請は無かった。
評価 (主な成果と考察)	南部神楽鑑賞会を開催し、伝統文化を身近に触れられる環境づくりと鑑賞機会を提供することができた。

	また、町指定文化財補助金について、制度内容を所有者に通知するなど、周知を図った。
今後の方向性 (今後の取組み等)	鑑賞・発表の場を設けることにより、伝承活動の活発化と後継者の育成を図る。また、町指定文化財の所有者に対しては、文化財補助金制度の活用促進に努めていく。

(2) 芸術文化に触れることができる環境づくり【主要施策】

具 体 的 施 策	鑑賞機会の創出
事 業 の 内 容	<p>1) 町芸術文化協会舞台部門発表会への支援 町芸術文化協会舞台部門発表会 日時 7月 1日(土) 会場 平泉町学習交流施設エピカ</p> <p>2) いわい地方美術展への作品の出品 日時 11月18日(土)～19日(日) 会場 東山農村勤労福祉センター その他 出展数 40点</p> <p>3) 芸術文化祭への実施協力 発掘調査速報展、岩手県内の三つの世界遺産の展示を行った。</p>
評 価 (主な成果と考察)	町芸術文化協会と連携し、舞台部門発表会の開催やいわい地方美術展、民謡・民舞踊のつどいへの参加等を通じて、芸術文化に身近に触れられる環境づくりを推進した。
今後の方向性 (今後の取組み等)	優れた芸術文化に触れることができる鑑賞機会を提供するとともに、各芸術文化団体が自主的・継続的に活動することができるよう、活動・発表の場の支援など環境づくりに努めていく。

(3) 芸術文化団体と担い手の育成【主要施策】

具 体 的 施 策	芸術文化団体の育成
事 業 の 内 容	<p>1) 町芸術文化協会活動支援 総会、役員会の活動支援を行った。</p> <p>①町芸術文化協会活動支援 ・役員会 4月21日(金)、5月11日(木)、10月12日(木)、 2月28日(水) ・総 会 4月28日(金)</p> <p>②各種サークル、団体への会場の提供 町内の各種芸術文化団体が活動することができるよう活動・発表の場の提供と支援を行った。</p> <p>2) 町指定民俗芸能団体への支援 芸術文化団体後継者育成事業(田頭讃念仏) ○第1回 8月11日(金) ○第2回 1月10日(水)</p>
評 価 (主な成果と考察)	<p>芸術文化活動の充実を図るため、舞台部門発表会や各団体の活動への支援を実施した。</p> <p>また、芸術団体後継者育成事業を実施し、田頭讃念仏の担い手となる後継者育成を支援した。</p>
今後の方向性 (今後の取組み等)	芸術文化団体の活動支援に努めるとともに、後継者の育成を図り、自主的な芸術文化活動の一層の活性化を図っていく。

4 評価委員会の意見

1) 平泉町教育委員会事務評価委員名簿

分野	氏名	備考
学校教育	鈴木 のり子	元幼稚園長
社会教育	沼田 光志	町社会教育委員
地域代表者	高橋 三男	第1区区長

2) 評価委員会の開催状況

第1回評価委員会 令和6年8月2日（金）10:00～

第2回評価委員会 令和6年8月19日（月）10:00～

3) 評価委員からの質問、意見

I. 学校教育

（質問） 基礎学力の定着について、1年で変化がでないと思うが、この1年どのようなことに気をつけたか。

（回答） 全国学力調査などの調査分析をもとに町の傾向、各校の課題に対して取組み、学力向上を目指しておりますが改善にはいたっていない。こういった指導を行っていくか、学校・児童生徒質問紙などを参考に学力向上に努めていきたい。

（質問） 英語教育の充実について、高校生会議の中で英語検定の全額補助は意味がない。やる気のある子に申請の形で補助をした方が良いのではとの意見があった。合格率等、数字的な資料はないのか。それによっても意見が出てくるのではないか。

（回答） 今回示していないが、教育委員会において合格率等は把握している。

（質問） 英語教育の充実について、英語検定の全額補助は継続した方が良いという事か。

（回答） 自分自身の英語力の把握につなげ、意欲を醸成する意味で全額補助の方針は継続していきたい。

（意見） 英語教育の充実について、町ではALTを幼保から配置し英語に力を入れている。英語検定補助についても、受検の機会が平等に生徒に与えられるもので良いものだと思う。今後も補助の継続をお願いしたい。

（質問） 生徒指導の充実について、不登校生徒3名が解消されたとのことで喜ばしいが、持続して学校へ行っているのか。適応支援教室利用者があったとのことだが、カラフルが開設されたことによって子どもたちがそちらに足を運ぶというのは大きな進歩だと思う。その子たちは学校へ足を向けているのか、また、カラフルの利用数は今どうなっているのか。

（回答） 適応支援教室利用者のうち1名は、始めのうち順調に通学していたが不登校傾向となっていることから、学校と連携しながら対応を検討していきたい。適応支援教室は現在1名の利用となっている。

（質問） 生徒指導の充実について、適応支援相談員、教育相談員は学校と適応支援教室を掛け持ちしているのか。

（回答） 適応支援相談員の方は平泉中学校を拠点校としてサポートしている。教育相談員は、教育委員会に在籍し、火・木曜日は適応支援教室、水曜日は各校に教育相談で巡回している。

（質問） ICTを活用した学習活動の推進について、チャットGPTに関して教職員、児童生徒の研究課題として、危険性がないかどうかを含め検討項目に入れた方が良いのではないか。

（回答） 生成AIについては、効果的に使うことができれば、教育活動に良いツールになり得るが、全国的な動き、他市町村の状況、学校ニーズを踏まえながら検討していく。

（質問） 豊かな心を育む情操教育の推進について、読書推進員1名が3施設を回っているとのことだが、1名で対応することに支障は出ていないのか。

- (回答) ボランティア等と連携しながら推進している。
- (意見) 幼保小中で取り組む系統的な平泉学・全世代型平泉学の推進について、発達段階にあわせて子どもたちを中心に平泉のことを学ぶ、学び合うことは今後も続けて欲しい事業だと感じている。
- (質問) コミュニティ・スクールの推進について、運営協議会の状況が分からない。CS 通信を発行して欲しい。
- (回答) 昨年度は、1 回発行している。今年度は年 3 回発行を予定している。
- (質問) コミュニティ・スクールの推進について、各学校運営協議会会議が 16 時から 1 時間程度で短いのではないかと思うがどのように考えているか。
- (回答) 開始時間については、学校の予定もあるので夕方で設定している。会議時間については、内容によって、1 時間半、2 時間と行っており、今後も弾力的に運営していきたい。

II. 社会教育

- (質問) 青少年教育の幼保園児対象のカルタ教室について、大会の開催状況はどうなっているか。長年続いてきたものなので行っていない理由は何か聞きたい。個人的な意見だが、続けていきたい行事であると思っている。
- (回答) 大会については、昨年度は行っていない。年々児童数が減少していく中で、一昨年コロナ禍で教室・大会が中止になった影響が残っており、参加者が減少し大会が行えなかった。今後も幼保小等に呼びかけ、継続を目指していきたい。
- (質問) コミュニティ・スクールが始まり、地域、学校の協働活動も各校で進めている。コミュニティ・スクールの一つの目的に教員の負荷を取り除くこともあったと思うが、負荷軽減の面ではどのような意見があるのか。
- (回答) 地域の方々の力を借りる相談や活動に対するご意見、形にして動き出す流れがスムーズになり悩みが減った等、コミュニティ・スクールを行うことのメリットを多く感じているとの意見があった。
- (質問) 指導体制の充実について、社会教育会議の中でテーマを決めて議論する場があっても良いと思っている。また、教育委員との意見交流できる場もあっても良いと考えているがどう思うか。
- (回答) 開催方法、内容などを含め検討していきたい。
- (質問) 生涯学習推進体制の整備について、生涯学習市民のつどいの参加者の多くが児童・生徒・保護者・教育関係者が多く、若者・高齢者の参加が少ないと思う。若者が参加する事業内容が必要だと思うがどう考えているか。
- (回答) 幅広い世代の市民の方が参加できるようご意見をいただきながら、検討していきたい。
- (質問) 社会教育団体援助について、今後の方向性について相談体制の充実とあるが、社会教育団体の方を集めて情報を共有したり、収集したりする場面があっても良いのではないのかと思うがどのように考えているか。
- (回答) どのような形で情報共有、相談体制を構築していくかを検討していきたい。
- (質問) 市民講座（学習交流施設事業）について、地域の課題を考える・解決する講座があっても良いのではないかと思うがどう考えているか。
- (回答) 学習交流施設自主事業、教育委員会事業または関係課で行うのが良いか、精査等を行いながら検討していきたい。

III. 生涯スポーツ

- (質問) スポーツ環境の町営テニスコート利用者には、中学校の生徒、町外の方も入っている人数か。
- (回答) 部活動を除き、スポ少での活動や町外利用者も利用者に入る。他の施設利用も同様である。
- (質問) 生涯スポーツ推進体制の整備充実について、行政区の参加人数少なく、出場したいが出れない行政区はどのようにしているのか。
- (回答) 行政区を越えて合同チームでの参加を可能として周知している。

IV. 文化行政

- (質問) 町内を回ってみると史跡はきれいに整備されているが、一歩外れると(町営駐車場等)整備が行き届いていないと感じる。連携して整備するというのは難しいものか。また、町民が参加できる講演会が開かれ、色々な先生方のお話を聞く機会が以前より多くなっている。文化意識を高めるために良いことだと感じている。
- (回答) 指摘の意見を関係課と情報共有する。
- (質問) 平泉の文化遺産に係る普及啓発について、環境整備の日はどのような活動をしたのか。
- (回答) 各団体で草刈や道路の環境整備を行っていただいている。行政区で取り組めない場合は、各家庭での取り組みを周知している。
- (質問) 平泉の文化遺産の調査・保全について、拡張登録を目指す関連資産は構成資産と共にひらいずみ遺産として、調査研究や価値発信に取り組んでいくとあるが、どのように周知しているのか。
- (回答) パンフレット等を使用し、ひらいずみ遺産として明記をして周知していきたい。
- (意見) 平泉の文化遺産に係る普及啓発について、平泉に込められた平和・平等の理念を世界に向けて、町内の方々が一堂に会して行う平和の祈りを今後も継続していただきたい

第6次平泉町総合計画（学校教育関係抜粋）

第1節 施策の大綱

【平泉町の将来像】

輝きつむぐ理想郷

—いにしへの歴史と希望ある未来、そして人を育むまち—

基本方針

- 1 つながりを力に
- 2 新しい魅力を力に
- 3 歴史・文化・自然の恵みを力に

第2節 基本目標

基本目標 1 一人ひとりの個性や生きがいを大切にし、 町民参加で進める協働のまち

幼児教育・学校教育の質をさらに高めるとともに、本町に生まれ育ったことに誇りと愛着を持つことができるよう、「平泉学」学習を行い、未来にはばたく教育を進めます。

また、すべての町民に対して生涯学習や社会教育、スポーツの充実を図り、町民一人ひとりの個性や生きがいを大切にし、本町で生きることの喜びと誇りを持つことができる取り組みを進めます。

さらに、まちの新たな担い手を確保するため、移住・定住を促進するとともに、町民と行政が共に手を取り合いながら主体的に考えるまちづくりを推進します。

基本施策 1 子どもの教育の充実

確かな学び、豊かな心の育成、健やかな体づくりのため、社会の変化に柔軟に対応した学校教育を推進し、地域一体で安心かつ充実した学習環境を整備します。

主要施策（主な取り組み）

（1）新しい時代に対応した教育内容の充実

子どもたちが学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるよう、学習の質を一層高める授業の改善に努めます。また、通常学級において特別な支援を要する児童生徒や不登校傾向のある児童生徒への教育支援の充実を図ります。

（2）学習環境の整備・充実

子どもたち一人ひとりの個性に合わせた教育を実現するため、児童生徒1人1台の学習者用ICT端末や高速大容量の校内ネットワーク環境の整備・更新など、国のGIGAスクール構想に基づく環境整備に努め、ICTを活用した学習活動を推進します。

また、学習指導要領等を踏まえながら、教育内容の充実に即した設備や教材・教具の整備を図ります。

（3）幼保小中で取り組む系統的な平泉学・全世代型平泉学の推進

平泉の歴史的価値を学び、興味や関心を高め、自信と誇りをもってふるさと「平泉」を語り、発信できる人づくりを目指し、また、世代間交流の促進、地域活動の活発化を図り、豊かな地域コミュニティの構築につなげ、持続可能な地域社会づくりに努めます。

（4）教職員の研修の充実

児童生徒一人ひとりへの理解に基づき、教科における系統性、発展性をふまえた授業交流、教員研修等により、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、長期的な視点による、きめ細やかな学習指導を推進します。

(5) 社会に開かれた教育課程の推進

「地域とともにある学校づくり」、「学校を核とした地域づくり」の実現を目指すため、コミュニティ・スクールなどの仕組みを活かした地域教育力の向上を図ります。

また、各学校の特性や、地域の実情に応じた組織的・継続的な協働体制を構築し、学校、家庭、地域が一体となった教育活動の充実を図ります。

(6) 健やかな体づくりと学校給食の充実

子どもの心身の調和的発達を図るため、運動を通して体力を養うとともに、安全・安心な給食の提供に努めます。

また、地場産物の活用や郷土食・行事食の提供を通して地域の食文化や食生活への理解を深められるよう食育の推進に努めます。

第6次平泉町総合計画（社会教育関係抜粋）

第2節 基本目標

基本目標 1

一人ひとりの個性や生きがいを大切にし、
町民参加で進める協働のまち

幼児教育・学校教育の質をさらに高めるとともに、本町に生まれ育ったことに誇りと愛着を持つことができるよう、「平泉学」学習を行い、未来にはばたく教育を進めます。

また、すべての町民に対して生涯学習や社会教育、スポーツの充実を図り、町民一人ひとりの個性や生きがいを大切にし、本町で生きることの喜びと誇りを持つことができる取り組みを進めます。

さらに、まちの新たな担い手を確保するため、移住・定住を促進するとともに、町民と行政が共に手を取り合いながら主体的に考えるまちづくりを推進します。

基本施策 2 生涯学習・社会教育の推進

情報化社会の一層の進展や刻々と変わる町民のライフスタイルに対応し、町民及び地域コミュニティとの協働による生涯学習・社会教育の環境づくりを進めます。

主要施策（主な取り組み）

（1）社会教育施設の整備と充実

すべての町民が、年齢や性別、障がいの有無に関わらず学習活動に親しみ、楽しむことができる施設の整備及び運営を促進することによって、地域のことを自ら考え、主体的に行動することができる人材の育成を図ります。

（2）生涯にわたって学ぶことができる学習環境づくり

学習の拠点としての社会教育施設を軸に現代的課題等の解決に向け、ライフステージに応じた生涯学習機会の提供、自主的に活動する団体や、地域を牽引する人材の育成支援に努めます。

また、各種ボランティアの育成や町民による自主運営講座の開催支援を行うとともに、学習成果を活用する機会の提供に努めます。

（3）家庭教育の充実

子どもたちの発達段階に応じた健やかな成長を支えるため、保護者を対象とした学習機会の提供や親と子がふれあい、心を通わせる体験の場の提供に努めます。

また、関係機関と連携し、社会教育施設の子育て機能を活用しながら、家庭教育の一層の充実に努めます。

（4）平泉の将来を担う人材の育成

全世代型平泉学の取り組みを通じて、地域を知り、理解するための学習プログラムを提供し、幼保小中で取り組む系統的な平泉学との有機的な連携を図りながら、子どもを中心に地域住民が集い、学び合う場を提供することで、郷土愛の醸成や豊かな地域コミュニティの構築につなげ、地域活動に積極的に参画する人材の育成に努めます。

第6次平泉町総合計画（生涯スポーツ関係抜粋）

第2節 基本目標

基本目標 1

一人ひとりの個性や生きがいを大切にし、
町民参加で進める協働のまち

幼児教育・学校教育の質をさらに高めるとともに、本町に生まれ育ったことに誇りと愛着を持つことができるよう、「平泉学」学習を行い、未来にはばたく教育を進めます。

また、すべての町民に対して生涯学習や社会教育、スポーツの充実を図り、町民一人ひとりの個性や生きがいを大切にし、本町で生きることの喜びと誇りを持つことができる取り組みを進めます。

さらに、まちの新たな担い手を確保するため、移住・定住を促進するとともに、町民と行政が共に手を取り合いながら主体的に考えるまちづくりを推進します。

基本施策 3 生涯スポーツの推進

高齢化の進展や健康増進意識の向上などによって、スポーツに対するニーズは年々多様化していることから、町民が気軽に参加できる機会の提供や施設の整備を進めます。

主要施策（主な取り組み）

（1）それぞれの年代等に応じたスポーツ活動の推進

すべての町民がそれぞれのライフステージに応じて、年齢や性別、障がいの有無に関わらずスポーツ活動に親しみ、楽しむことができる環境の整備を推進していきます。

（2）未来を担う人材の育成

スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブの地域への浸透、そしてスポーツ環境を支える正しい知識と質の高い指導力を持った指導者の育成・支援に努めます。

（3）スポーツ環境の整備・活用

体育施設や付帯設備の老朽化が進行しているため、利用者が施設を安心して使用できるよう適切な整備を図るとともに、新たな体育館の整備を検討します。

また、町民のスポーツ活動の普及や振興のため、施設利用の利便性の向上、学校教育に支障のない範囲での学校施設の開放を進め、施設の有効活用を図ります。

第6次平泉町総合計画（文化行政関係抜粋）

第2節 基本目標

基本目標 6 歴史と文化を継承し、 交流と創造が花開くまち

「平泉の文化遺産」は、本町の誇りであり、後世にわたって守り、育て、紡いでいく必要があることから、適切な保存に取り組むとともに、その価値を活用したまちづくりを推進します。

また、町民の生活に潤いが溢れるように芸術文化活動の振興に努め、さらには本町の特徴的な景観の保全と整備を行います。

基本施策 1 世界文化遺産の保存と活用

「平泉の文化遺産」を未来に継承していく取り組みを推進するとともに、全容が明らかになっていない史跡地の調査や調査成果に基づく史跡公園等の整備・修復をしていくことによって、新たな魅力を発信していきます。

主要施策（主な取り組み）

（1）平泉の文化遺産の調査・保全

「平泉の文化遺産」の適切な保護に取り組むとともに、全容が明らかになっていない浄土庭園の発掘調査を推進し、適切な保護を図りながら復元整備を行い、その価値の伝達に努めます。

また、柳之御所遺跡及び達谷窟の世界遺産への追加登録に向けた調査研究を関係機関との連携によって推進します。

（2）平泉の文化遺産の理念の普及

町内外の人々が平泉の歴史文化を感じ、学習する場として、平泉文化遺産センターのさらなる充実を図るとともに、県が整備する「平泉の文化遺産」ガイダンス施設（仮称）をはじめとする関係施設と連携し、平泉の文化遺産の理念とその価値に触れる機会の創出に努めます。

（3）史跡地の調査・整備、史跡公園の整備・活用

全容が分かっていない文化遺産の調査研究を進め、成果の公表と価値の伝達に取り組めます。

また、史跡地及び史跡公園については、調査成果に基づく復元整備とVR*等の復元映像を活用することによって、双方の相乗効果による来訪者に分かりやすい整備を推進します。

さらに、観自在王院跡については、整備完了から40年が経過していることから、将来の再修復時における史跡情報の取得を目的とした発掘調査を実施します。

基本施策 2 文化財の調査研究の推進

「平泉の文化遺産」の裾野には、多くの一般文化財があります。これらの文化財を未来に継承していくため、調査研究を推進していくことによって、新たな文化財の掘り起こしを図ります。

主要施策（主な取り組み）

（1）有形・無形文化財の調査研究と保全

「平泉の文化遺産」の裾野に広がる建造物や石碑、天然記念物などの文化財を町民の財産として将来にわたって継承していくため、専門家の指導を得ながら適正な調査を実施します。

また、個人が所有する文化財については、その所有者に対して保全に必要な支援を行います。

（2）埋蔵文化財の保護

遺跡分布図等によって埋蔵文化財包蔵地を周知啓発するとともに、開発行為等に際しては事前協議を行い、必要に応じて立会調査による指導及び発掘調査等を適切に実施し、埋蔵文化財の保護を図ります。

（3）文化財の情報発信

現地説明会等による調査成果の公表や発掘出土品を展示公開することによって、町民の理解を深めるとともに、発掘体験学習やウォーキング等を通じて遺跡・史跡に親しむ機会を提供し、文化財に対する愛護の心を育みます。

基本施策 3 芸術・文化の振興

先人たちがそれぞれの地域で守り伝えてきた伝統を次世代に継承し、芸術文化活動を持続的に発展させていくため、担い手となる人材の育成を支援し、町民が芸術や伝統文化に気軽に触れられる環境づくりを推進します。

主要施策（主な取り組み）

（１）地域の伝統文化の保存と継承

地域に伝承される郷土芸能の後継者育成と伝統文化の継承のためには、町民の理解が不可欠であることから、継承機会の創出を目的とした郷土芸能体験講座や発表機会の充実に努めます。

また、各団体の活動を後押しするため、町指定文化財補助金の活用を促進します。

（２）芸術文化に触れることができる環境づくり

町民ニーズの把握に努め、音楽・演劇等を鑑賞できる機会の充実に努めます。

また、芸術文化団体と連携し、芸術文化祭をはじめとする自己の取り組みを発表する機会の確保に努めます。

（３）芸術文化団体と担い手の育成

指導者及びボランティアの確保と育成を図り、芸術文化団体の活動継続を支援するとともに、町民の自主的な芸術文化活動の一層の活発化を促進し、担い手となる人材づくりを支援します。